

ラッパの祭り

ジェファソンビル インディアナ州 アメリカ合衆国

1964年07月19日午前

1 頭を下げましょう。主は、ある時、愛する弟子たちから「祈り方を教えて下さい」と言われました。我々は、偉大な天の神を目にしたとき、いかに不十分であるかを実感するのです。ですから、主よ、私たちの心の中で、あなたの王国とあなたのしもべの益となるために、心の中で祈るように教えてください。あなたはここにいるすべての人の必要をご存知です。

そして今朝、机の上にはハンカチとエプロンがあり、実際的な援助の必要と家庭のための者なんでも小さな小包があります。しかし、あなたは神であり、神だけが、存在する唯一の真の神であられるのです。そしてわたしたちは、あなたがたの愛する子イエスの御名によって、あなたがこれらのそれぞれを癒してくださるよう求めて祈ります。そして、ここにハンカチを持っていない人や、癒しが必要で小包を持っていない人がいます。

このテープでさえ彼らの家や彼らの教会に必要なを満たすかもしれません、のいくつかの国々にいるかもしれません。主よ、私たちは祈りを捧げます。礼拝が行われている間、テープが再生されている間、または私たちがどのような位置にいたとしても、またはどのような状態であれ、今朝、偉大なる天の神がこの心の誠実さを尊重されます、貧しい人々を癒し、彼らが必要としているものを彼らに与えてください。

来るべき礼拝において、今私たちを祝福してください。神の国のために、これまでになかったようにもつと、私たちを通して語ってください。イエスの御名によって、あなたの答えを待っています。アーメン。

これについて助けて頂けますか？ブラナム兄弟が説教壇からアイテムを移すー 編集。]

2 今朝再び教会に居られてうれしいです。そして私はちょうど、オハイオから来たばかりの数人の友人と数か月前に連れてこられた白血病で死にかかっていた小さな女の子の事を話していたのです。両親はとても貧しい人々でした。そして、私は今朝のファイルにされている証について読む時間がありません。しかし、それから3日後の先程の女の子の写真があります。彼女のために祈られた後だったと思います。医者は彼女にわずか3日間の余命と言っていました、そして3日後に彼らはその痕跡すら見出せませんでした。そして今、彼女は学校にいます、とても幸せです。彼女がここの部屋にいた時の事を、教会は覚えている事を確信しています。

そして、腸が外について生まれた小さな赤ちゃんも。どういうわけか、医者たちには、腸が形成される方法のこの小さな子供状態を、再び元に戻すことができませんでした。彼らはその小さなものに触れることを恐れていたのです、それは新生児なのです。そして今、その小さな子は約1歳です、そのくらいだと思います、今は、腸は普通の状態で、すべてが普通の状態になっているのです。神の恵みであり、神が私たちにどれほど良くして下さるかが分かります。

3 さて、本日、私たちが計画していた集会について、次の週にアフリカで、ジョセフ・ボーズ兄弟とともに、ケニアとタンガニヤに行くことを計画していたことお知らせしたかったのです。私たちは集会を開くことができず、ボーズ兄弟から電報が返ってきました。「先週、私たち自身の宣教師の3人が殺されたのです。」

そして現状、彼らのエリアでは、クーデターのようなことが起こっているのです。そして共産主義者達は先住民に銃を突き付けて、彼らが魚船を設置しろと要求している、赤い中国とロシアそして先住民に銃を手に入れると、彼らは彼らがそれを使用するのを目にしたものだけでそれらを使用する方法は良く知らないのです。ですから、そこで政府は、今回の会合を開くのは賢明ではないと考えているのです。そして、私が理解しているように、ボーゼ兄弟は、私が今回行く予定にしていたこの地域で彼の学校を開くことさえできない状態なのです。しかし、この旅はキャンセルはされず、再び静まるまで延期されるだけなのです。

4 今朝、私たちの中で、長年欠席していた南アフリカのジャクソン兄弟、シドニー・ジャクソン兄弟、シスター・ジャクソンがここにおられるのを見て、とても幸せです。彼らは話しましたか？[ネヴィル兄弟が、「はい」と言うー 編集。]そして、これらの人々は私の本当の兄弟姉妹であり、南アフリカでの前回の旅でのキャンペーンで同僚でした。私たちはいつの日か、神の恵みによって、再び彼らと一緒に必要を抱えている人々のために戻れることを神に信頼しています。

そして、私は9年間も戻ろうとして来ている。しかし、組織達の都合により、彼らは私を戻らせようとしていないのです。それで、私は最近彼らに手紙を書き、「それから、失われた魂への責任の血はあなたのものであって、私のものではありません」と言いました。というのも、神はいつの日か、あの人たちのために、あそこの私

の働きを使いたい思っておられるのを信じているから。そして、彼らの宗派の違いによって、彼らは私が戻ってくることを許さないでしょう。しかし、大丈夫です、主がそれを世話して下さいます。

5 さて、今朝私が言いたいのは、もし主の御心ならば、ネヴィル兄弟が私に今晚、幕屋で礼拝をするようにと頼まれたことです。だから私たちは…皆さんを来られるように招待しています。そして次の日曜日に。主の御心ならばここに来ます、それから多分、次の2、3日曜日のために、これがないためにこの旅が無くなったのでこの集会在キャンセルになりましたがそのためここで行えます。

6 さて、またこのことも言いたいのです、この時期に七つのラッパについて説教するかもしれません。建物の大きさが足りず、エアコンがうまくいっておらずで、部屋に空気が十分でないのに、どうやってそれをやろうとしているのだらうと思っていました。エアコンはまだ直されていません。そして私達はここにこの学校を借りようと思いました、そしてそれは空調されていて、席については…ああ、わかりません。それは素晴らしい席数も十分で、とても素晴らしい学校です。しかし、何も見つけることができませんでした。

そして、彼らは来週私たちに使わせてくれるでしょう。しかし、来週ですか？世界のさまざまな場所から来ている代表団がいます。ジャマイカから、そして諸島から、そして南から、南アメリカでさえ、そしてカナダとメキシコと、そして色々な国々から分かりますよね。そして、私たちは月曜日に通知を送りました、そして、彼らは水曜日か木曜日くらいまでそれらは届きませんでした。そして、休みについて尋ねたりしなければならなくてそれは延期になります。

次の週に、学校の時間まで、それを1泊しなければならないでしょう。それから1泊か2泊しなければなりません。それからまた初めてそれから…私たちはそれを行うことができませんでした。それをさせる事は出来ませんでした。

7 その理由について心から祈りました。そして、そろそろアリゾナに戻る時間なのです。子供たちが学校に行く時間になるためです。そして、私たちは…私は妻と話していました。

そして、さて、昨日私は部屋に入って、「主よ、私はそれほど多くの言葉を使うことはないかもしれませんが、神よ、私の心の思いを理解してください。」すべてがそれらのラッパの説教をすることに関して切り離される問題は何なのですか？」そして、主が来られて明らかにされました。そして今朝、その理由をお話したいと思います。

さて、聖書を持っていて、聖書を開きたい人達、開きましょう。まず、レビ記の第23章であるレビ記を開いてください。

御心ならば、今夜私はこのテーマについて説教します：キャンプを越えて行く。そして、それは短くなるので、あなたは仕事の場所に戻る時間があると思います。

8 私たちは訪問者、町の外からの人々がいらっしゃるのが見れてうれしいです。私たちが見ている間に、何人のこの町からじゃない人々がここにいますか？会衆の98パーセント、そうです、会衆の98パーセント。つまり、ジェファーソンビルではなく、ジェファーソンビルに入ってきた人々です。私たちは主の恵みによってここにいます。

そして今朝、私は3つの場所を読みたいと思います。それらの一つはレビ記23章にあり、他はイザヤ18章とイザヤ27章に見出せます。印をつけている人たち。

そして今、説教の代わりに…御心によって、私は今夜それをします。しかし、私は今朝、7つのラッパの祭りについて教えたいです。今月は7つのラッパの祭りであり、第7の月であり7月15日は、レビ記の立法上ラッパの祭りの始まりでした。

9 さて、あなたがあなたの神や物を持っていて、進むにあたって、聖書やテキストなどを書き留めたいのならば。

この集会には言っておかなければならぬ事が一つあります。暑いです。私たちは何年にもわたって慣れています。しかし、誰かが私がこの建物に入るとき、私たちが時間を止めると信じていると思うかもしれません。多分、そして部分的には、永遠に、私の人々をどのくらい長く居させている方法を考えると。そういう意味ではありません。しかし、私たちはイエスの到来に非常に近い時に生きていますと信じています。私は人々が集まるときの毎分を大事に利用しなければなりません。

そして、私はしばらく前に車で走っていた時に、本当の聖職者がそうするように、説教壇に入る直前に小さな祈りに入っていたのです。私は考えていました。「私たちがここで会うとき、私たちは最も輝かしい時間を過ごしています!しかし、そして多くの州から集まった人々が、今ここに、何百マイルも何百マイルも離れたところから集まり、集まってみことばの周りで交わりをするのです。しかし、これがお気に入りの思い出になる時が来るでしょう。」その通りです。

これらの時間は私たちから奪われるので、だから毎分カウントするために、私たちが行う方法で知っているすべてのことをしなければなりません。さて、朝の暑さに苦しんでいる今、これを考えてください。そして、ご存知のように、すべての人体は発熱機そのものなのです、そのことがかなり厳しい状態になります。そして、しかし、皆さんにみことばを手に入れて欲しいのです。

さて、私たちが読む直前に、祈りましょう。

10 主よ、ここにいるほとんどの人は手を動かすことができ、この聖書のページをめくることができます。しかし、今朝、私たちの中には、それを開くことができる方がおられます。それは私たちの中にいる偉大な聖霊です。主が、私たちが読むので、あなたが弟子たちにしたように、彼らがエマオへの道を進んだ道で聖書を説明し始めたときのように私たちにみことばを開いてください。そして、私たちが去るとき、エマオからエルサレムに戻ってきた人々のように、「道々お話しになったとき、また聖書を説き明してくださったとき、お互いの心が内に燃えたではないか」。となれますようにイエスの御名によって祈ります。アーメン。

御言葉に敬意を払い立っていきましょう。

11 さて、今朝の私のテーマは、「ラッパの祭り」です。さて、レビ記23章23節から読みたいと思います。

主はまたモーセに言われた、

「イスラエルの人々に言いなさい、『七月一日をあなたがたの安息の日とし、ラッパを吹き鳴らして記念する聖会としなければならない。』

さて、イザヤ書では18章の1節から初めて、これはこれと結びついているのです。

ああ、エチオピアの川々のかなたなるぶんぶんと羽音のする国、

この国は葦の船を水にうかべ、ナイル川によって使者をつかわす。とく走る使者よ、行け。川々の分れる国の、たけ高く、膚のなめらかな民、遠近に恐れられる民、力強く、戦いに勝つ民へ行け。

すべて世におけるもの、地に住むものよ、山の上に旗の立つときは見よ、ラッパの鳴りひびくときは聞け。

イザヤ書第27章12節と13節。

イスラエルの人々よ、その日、主はユフラテ川からエジプトの川にいたるまで穀物の穂を打ち落される。そしてあなたがたは、ひとりびとり集められる。

その日大いなるラッパが鳴りひびき、アッスリヤの地にある失われた者と、エジプトの地に追いやられた者とがきて、エルサレムの聖山で主を拝む。

12 もう一度祈りましょう。主よ、これらの言葉で私たちの心を祝福してください。私たちの考えと私たちの瞑想は、あなたの勧めによるものとしてください。イエスの御名によって。アーメン。どうぞおかけください。

13 牧師が彼の会衆を愛しているので言いたいことがたくさんあるのですが、異なる場所から色々な人たちがいるので、この時間ではそれは可能ではありません。

さて、この主題に近づくとつれ、私たちは皆さんに自由に感じてもらいたいです。そして、あなたの方多くは立っています。わたしがたどり着いたとき、ホールは満員で、ドアの外、正面、建物の周り、壁の周りに皆さんがおられました。だから、今、あなたがお互いに席を変えたいならば、それは大丈夫です。

14 さて、ラッパの祭り。さて、これは彼らが集まるイスラエルの集会でした。ラッパの祭りです。

さて、私はしばらくの間、「黙示録」の七つのラッパについて話すことを楽しみにして来ていました。そし

て今、私たちはこれを復習します、ちょっと待ってくださいね、私が今回話さなかった本当の原因を引き出すために。なぜなら聖霊はこれらの事柄について現時点で私に話させないからです。私はそれが非常に未熟に聞こえることを知っています、多分、偉大な学習と理解の人々にとっては、しかしそれはクリスチャンにとっては違っているのです。私たちは、御霊の導きのみ従うのです。

15 さて、私は七つの教会時代の説教に気づき始めています。それは、神が今後教会のために、教会を通して、そして教会を位置的に設定するために行おうとしている事に関してすべてのパターン、あるいは予告です。

黙示録の最初の3章で教会に起こったすべての出来事が明らかにされています。それから、黙示録の3章から19章では、教会はもう見えません。教会は黙示録の4章で上に行き、黙示録19章で花嫁と花婿が一緒になって地球に来ているのです。そして、19章から22章の結論まで、すべては至福千年についてであり、その後続く数年についてです。4章から19章の間、神はイスラエルを扱っておられます。

16 さて、私達が教会の啓示の本を読み終えた時、神がそれらの7つの教会に何をされたか、そしてそれらは小アジアの彼らの幼少期または彼らの影にありました。その後、聖霊はそこにあるすべての神秘を明らかにして開かれました。主がどのように歴史を通して彼の教会にもたらしてきたかについてです。七つの教会時代を収録したテープを持っていないならば、彼らの言うことを聞いていただければ幸いです。そしてすぐそれは本の形として出版されます。

それからそれをそのままにして、しばらくすると私たちは封印が何であるかを知らずに封印について説教すると思います。

私はすべてのミニスター達と同様に、自分自身の考えを持っていました、他の人が書いたものを読んだり、そして出来る限りそれを信じようと思いました、その彼らが結論をもたらしたものについても。私はアドベンティストの教師であるスミス氏、ウリア・スミスの本を読んだことがあり、彼の考えを読みました。そして、私はラーキン氏の本も読みました。私は、これについての彼らの論評をたくさん読みました。しかし、どういうわけか、私はそれについて少し見えている事があると思いました。私自身、それは異なる場所のものかもしれません。しかし、一度試してみると、3人の家来、最初の…、または4人の馬乗りの4人の家来たち話していました。私はそれについて4夜説教しました。馬について一つ一つそしてそのほかも、

17 しかし、それが起こる直前に、私はあなたが皆知っているように、「先生、今の時間は？-Sir, What Time is it」というテープにある幻を与えられました、？アリゾナ州ツーソンに行くべきだと。そして、砂漠の裏側の山の中に、私は何人かの兄弟と一緒にいて、何が大爆発をもたらすかについて話していました、そして、7人の天使が降りてきました。私は自分自身、それが私の人生の終わりだったと思いました。私は妻にビリーと一緒に行くように、そして子供たちと何をすべきかなど、私たちが反対側で再び会う日までの事について話しました。

18 それからある日、サビノキャニオンで、神が朝早くそこで私を呼ばれました、私は手を上げて祈り、剣が手に届きました。あなた方はそのことをご存知ですね。私はそこに立ってそれを見ました。私の手が今あるのと同じように、それが何を意味するのか分かりません。そして、「これは王の剣です」と言う声が私に残されました。そして、後に、主の天使がそれを明らかにしたとき、それは手にある御言葉でした。

その直後、主の天使たちが現れて、七つのラッパや七つの封印について話しました。私はここに戻ってジェファーソンビルに戻り、七つの封印を宣べ伝えました。そして、私がこれまでに靈感を受けて言ったことがあれば、それはその中にありました。そこで主の御使いが私たちに出会い、聖書が新しい聖書になります。そこでそれは開かれて、改革者と物事が取り残していたすべてのものを明らかにされたのです。それは私たちにとって全く新しいイエス・キリストの啓示でしたが、聖書と全く同じものでした。それはいつもそこにあった御言葉なのでした。私はとても靈感を受け、導かれました。

19 そして、私がこの部分に来たとき、七つのラッパを説教することについて、私はある意味、「さて、私は何も考えようとしないうちにしよう。私はその時まで待って、彼にそれを私に明かしてもらおう。」そして昨日私がそこに居た時点で…私は部屋に入って、考えていました。あるいは、ごめんなさい、それは昨日の前の日でした。私が部屋に入ったとき、理解しようとしたとき、聖霊がこれを開いたものがそこにありました。それは、教会にとっても利益をもたらさない理由を私に示しました。それは教会とは全く何の関係もないからです。

20 さて、キリストの隠された奥義は七つの封印で完全に明らかにされました。

それはまず、7つの教会時代で、時代を開き、歴史と聖書の両方でそれらを位置的に配置し、彼らをどのような状態だったかを明らかにしたのです。そして私たちは最後の教会時代に生きている事、すべての教会時代の中で最も腐敗しやすいラオデキア教会時代にいることに気づきました。最初から、エペソの教会でさえ、偉大な教会時代でした。

そして、ここで、聖霊が私に幻を与え、何が起こるかを理解して、私は2年前に黒板に描きました。ここでは、光が地球から消えていく様子、つまり、光が福音のように地球上に来る方法と、光が消えていく様子が描かれています。当時はそれが何を意味しどうなるかは知りませんでした。

しかし、大きなエキュメニカル(教会統一)な世界では、ローマとのミーティングがありました。ローマはあらゆる組織の母なのです。教皇は歴史上初めてバチカンから離れて、エルサレムと多くの場所に行きました。さて、エルサレムは私たちのすべての宗教の古代の位置であり、それこそがエルサレムです。そして、この古代の席では、全時代において教会の最大の敵であるローマの教皇がローマを訪問するためにやってきて、ローマからパレスチナ、エルサレムへと向かったのです。

21 そして、分かっているように、私自身教育を受けていないので、つまり言葉やそれを話す方法を知らないのです、私はいつも自然のパターンでタイプを教えてくださいました。自然は自然に従います。自然は神のものです。

あなたが時間をかけて牛が畑に集まったとき、皆が畑の隅に集まり、魚のラインを水から取り出そうとするとしても 魚はくわないのです。あなたはそれらを捕まえることは決してないでしょう。ほら、牛は休んでいます。あなたがたまたまその上に落ちない限りは。しかし、牛に餌をやるときは注意してください。牛がそうすると同時に、鳥も木に連れて行きます。彼らは食べるのをやめます。ほら、それこそ自然なのです。それはすべてが一緒にブレンドします。あなたはミツバチがその蜂蜜を集めているのではなく、その蜂蜜の上で音を立てていることに気づきます。すべて自然は一緒に働いているのです。

22 したがって、木の葉が落ちるのを見るように、すぐに、次の数か月で、葉は木から離れます。そして、生命、樹液は根に降りるようになるのです。そして木の葉は落ちて地面で腐敗します。そして、カルシウムとカリウムは木の葉の中にあり、地面で腐ります。そして、何が起こったのですか?命はそれより先に進んでいきました。そしてそれはそれ自体を吸い込み、再びその葉を取り戻します。それは死、埋葬、そして復活です。

23 そして、自然のすべてです!そして月は太陽の妻なのです。より弱い光です。そして、また、太陽がなくなったとき、太陽が光を与えないとき、月は教会を表すものである地球に光を反映させます。そして、教皇、教会の古代の敵がローマを去って、教会の座であるエルサレムにやって来ます。新しいエルサレムと古いエルサレム。私たちは、それが行われる前に、月の完全な暗闇があったことに気づきました。

24 そして、新聞で、我々の持っている役員会のように全国的に、それはその月がどのように光から闇に変わったかを示しました。そしてそのままにその現象、その月が空に描かれたと言う事は、聖霊が私に2年前にここに描いたものと同じものであり、そして…それが6枚の写真になったとき、私は7枚目の写真をそこに置きました、なぜなら7番目の教会時代、ちょうど光の影、の行き方…イエス様が戸口でノックしているところです。しかし、それは完全な暗闇に入ります。

25 そして神ご自身からのメッセージこれらが真理であることのなんとという反射なのであろうか!最初に彼の言葉でそれを証し、次に演壇で御霊によって証言し、それから天でそれを宣言しました。それには全く間違いはありません。これらの封印と時代は完全に一致しています。神は超自然的なしるしと不思議によって証しをし、私たちが今生きているこの時代と、みことばと歴史が全て一緒に置かれているのです。

今、教会がこれを理解することは難しいです。宗派がそれを理解することは難しいです。彼らはいつもあなたが人々を驚かそうとしていてと考えようとしています。そうではないのです。あなたは人々に警告しようとしているのです。彼らに邪悪な事をしようとしているではありません。あなたは悪から彼らを取り戻そうとしているのです。それは組織にいる人々ではありません。彼らがいるシステムであり、それが彼らを愚かにしているのです。正直で、誠実な人々はカトリック、プロテスタント、ユダヤ人などにもいます。それは人間です。

26 修道女は悪女になるために修道院に入るわけではありません。彼らはそこに行って良い女性になろうとするのです。彼らは神に近づこうとしていますが、システムが彼等を穢すのです。人々は教会に参加します。悪い人になるためでなく、良い人になるためです。しかし、御言葉と神がこの日に定められた原則から彼らを引き出すのは教会の体系です。それが神から彼らを引き離すものです。

27 覚えておいてください、神はみことばであり、彼は地球上の各時代のためにみことばをあてがったので

した。彼は教会時代にそれをあてがいました、そして、7つの封印はそれぞれのすべての詳細を明らかにしました。分かりますか？

なぜそこに…まだ隠されていた奥義があったのでしょうか？黙示録10章で、7番目の御使いのメッセージの終わりに、隠されていたこれらの神秘が明らかになるとわかりました。啓示10:1から7までです。注目してください、理由はこの時代には預言者がいなかったからです。聖書は、「神は、神のしもべである預言者にそれを明らかにされるまで何も行わない」と語っています。そして、主のことばはいつの時代にも預言者たちに来たものであり、決してシステムやグループに来たものではありません。

28 神は決してグループをえませんでした。人々がグループを組織化する度に、神はそれを去り、二度と戻らなかったのです。その歴史を研究して、それが正しいかどうかを確認します。すでに完了しています。彼らが組織した後、主は決してシステムやグループを扱いません。それは神に反対しているのです。

それゆえ、改革の時代に、七つの封印がそうであることを証明したように、改革者がやって来ました。しかし、終わりの日に、それは再び明らかにされることになっていたのです。なぜなら、私たちは聖書のマラキ4章で、油注ぎが行われ、その元の信仰を再び取り戻すこと、そして人々の信仰を元の五旬節、すなわち父親の信仰に戻すことを見出しているからです。」

29 そして、我々は最初のエリヤの働きを取り。私たちはエリシャがそれに従うのを取りました。その後、その時代のエリシャであったバプテスマのヨハネを連れて行きました。そしてこの時代のもう一人の人に関する約束。

さて、バプテスマのヨハネはマラキ4章のエリヤではありません。彼はマラキ3章のエリヤでした。イエスがそう言われました。「見よ、わたしはわが使者をつかわす。彼はわたしの前に道を備える」私たちは彼がそうであることが分かっています。

さて、そうすることで、それらの立場を見つけることで、神の靈感を受けた聖書の残りの部分が、私たちが終わりの時にいることを明らかにしてくれることが分かります。

30 さて、もし私がペンテコステ派のメッセージを持って来たら、私はラオデキア教会時代に入っているのですが、それは正しくありません。

それがウェスリーがルターのメッセージを取ることができなかった理由です。ルターは一つの教会時代にあり、ウェスリーは別の教会時代にいました。もしイエスがモーセのメッセージをもって来られたなら、それはうまくいかなかったでしょう。もしモーセがノアのメッセージをもって来ていたら、それはうまくいかなかったでしょう。

しかし、神はご自分の一彼の一彼の人々に、あらゆる時代に聖句をあてがってくださいました。そして、時代が到来する前に、そして時が経つにつれ、教会はそれを非常に混乱させて、彼らは彼らがどこにいるのかを分からなくなっているのです。

31 それが、イエスが神の御子であることを認めない理由なのです。彼らの伝統は彼らの目を盲目にしました、しかし主はまさに聖句と共におられます。

預言者たちも同じでした。イエスは言われました、「あなたの先祖のうち、送られた預言者を石で打ち殺さなかったものがいたろうか？」それから神は彼の預言者を…に送ります、そして、預言者は顕現される神の生きたみことばなのです。

イエスは言われました、「父が聖別して、世につかわされた者が、『わたしは神の子である』と言ったからとて、どうして『あなたは神を汚す者だ』と言うのか。」あなたは言った、「神の言を託された人々が、神々といわれておるとすれば、つまりそれは預言者であるが」。そして、彼らはそうなのです、なぜなら、聖句は砕かれることができないからです」と彼は言いました。「それなら、どうしてわたしを罪に定めようとするのか。」彼が…彼らは律法の一部でした、彼らは神のことばの一部でした、しかしイエスは神のことばの完全な表れだったのです。贖いの彼の全計画、神の完全さが彼にありました。

32 そして今、教会時代を通して、彼らは同じことをしました。そして、七つの封印は、その間に残されたすべての奥義を明らかにすることです。なぜなら私たちには預言者がいなくて、みことばは改革者には来ないからです。預言者！

神は変わらない方です。マラキ3章で、「私は神であり、私は変わる事がない」と言われました。神の何かを行う時何時もそして最初から行う方法なのです。神はエデンの園で、罪のない者の血を流すことによって人を救うことを決められました。それ以来神はそれを変えられていないのです、それはを変える事は不可能なのです。私たちは教育によって、建物によって、システムによって、宗派ごとに、倫理によって、そしてその他すべてで試みましたが、それはすべて失敗しました。しかし、神が人に出会う場所はただ一つ、罪のないものが流された血の下にあります。その血によってのみです！それが彼の最初の決定でした。分かりますか？

私たちは決断を下すことができ、来年はもっとよく考えることができます。翌年に、私たちはそれについてより良い考えを得ました。神にそれはできません。無限の方です。彼の最初の決断は完璧です。何もそれを動かすことができません。私にはもっと学ぶことができます。私たちは有限です。もっと学ぶことができます。皆さんはもっと学ぶことができます。しかし、神はこれ以上学ぶことができません。そもそも彼は完璧なのです。そして、それゆえ、彼の最初の決断が、あなたの魂を決められるのです。聖書が言っていること、それだけなのです！

33 神はいつの日か世界を裁かなければならないのです。そしてカトリックは、彼はそれをカトリック教会によって裁くと言っています。もしそうなら、どのカトリック教会ですか？彼らは一つ一つが別ものです。あなたがプロテスタントによってそれを裁きに行くなら、どのプロテスタント教会ですか？彼らは一つ一つが別ものなのです。そして、それは少し混乱するでしょう。誰が何処に立っているかわからない。メソジスト派が正しいならば、バプテスト派は失われています。プロテスタントが正しいなら、カトリック教徒は失われています。カトリックが正しければ、プロテスタントは失われています。

しかし、聖書は彼がイエス・キリストによって世界を裁くであろうと言いました、そして彼こそがみことばです。そして、彼は御言葉によってそれを裁かれるでしょう。

そして、すべての宗派が彼らの信条を作るために、そのみことばから離れているのです。私は、彼らが完全なみことばをどこから取ったかを私に証明するようにただ頼みます。人間のシステムによって制御されているため、彼らはそれを行うことができません。あなたが人を得たところ…

神は決して一度に一人の人とのみしか取引をしませんでした。彼は同時に二人の預言者がいたことはありませんでした。ひとり！神は一人の男性を彼の手に入れることができます。彼はあなたとは取引しません…あなたの組織とは。彼はあなたに対処します。

34 さて、その根拠に基づいて、我々はラッパの祭り、隠された奥義にきています。それがそのようであることは預言されていたので、だからそうであった方法で明らかにされなければなりません。しかし、この終わりの日に明らかにされるために、私が今言ったことを正確に成就するために、マラキ第4章、ルカ第17章、そして30節、彼がそれをどのように行うか、そしてヘブル13:8、ヘブル4:12、それらの多くの聖句が我々にそれを告げています。さて、それがあなた方の何人かにとって異質なものであるなら、私はこう言います、神はいつも…神が人々の間に知らされる方法は、預言を通してであるということです。

ユダヤ人は常に預言者を信じるのが分かっていました。彼は「もしあなたの中に誰かがいれば、私は主に霊的な夢と幻の中で語られます。そして、彼の言われることは必ず起こりますので彼に聞け」と言われています。彼らはいつも…

そのようにして彼らはイエスを認めることができず、彼を他の何かに分類しなければならなかったのが、彼らは彼が心の中にある考えを見分けることができたので、彼を悪霊「ベルゼバブ」にさせてしまいました。私たちはいつもそれがみことばのしるしであることを知っています。

35 ヘブル人への手紙第4章12節が、「というのは、神の言は生きていて、力があり、もろ刃のつるぎよりも鋭くて、精神と靈魂と、関節と骨髓とを切り離すまでに刺しとおして、心の思いと志とを見分けることができる。」と述べています。

「彼と聖霊があなたに降る時、彼は私が言ったこれらの事を思い出させ、来るべき事をあなたに示してくれます。」

「雑多な時代の神は、多様な方法で」ヘブル人への手紙1章、「神は、むかしは、預言者たちにより、いろいろな時に、いろいろな方法で、先祖たちに語られたが、この終わりの日には見事であるイエスキリストを通して語られる」同じ神が預言者から御子に変わったのです。それだけなのです。分かりますか？常に同じメッセージ、同じやり方で。

36 さて、教会はこの状態にあると予言されており、再び元に戻す必要がありました。そして彼は、マラキ4章で、「預言者エリヤを遣わし、人々を再び取り戻す」と言われました。注目してください。そして直前に…または、彼のメッセージの直後に、世が燃え尽きて、正義の人々が灰の上を歩き出て行く時が来るでしょう。

さて、世界中のどこかでテープで聞いている神学者に、それがヨハネだと思ったら、聖書の理解は間違っていることを覚えておいてください。ヨハネのメッセージの後で世は燃え尽きなかったからです。イエスは至福千年の人々を迎えに来られませんでした。しかし、彼はエリヤの霊が再び地上に来た後にそれを行うことを約束されました。

37 今こそ、マラキ4章に注目してください。これは、人々の信仰を元の父、ペンテコステ(初代教会)の教義、元の父に回復させるために行われることになっていることがわかります。そして彼は人々をその信仰の父達の者に回復させるでしょう。

私たちはルカ17章で、イエスがこの終わりの日にルカ17:33で来られるとき、イエスが言われたことがわかりました、「ロトの時にも同じようなことが起った。人々は食い、飲み、買い、売り、植え、建てなどしていたが、ロトがソドムから出て行った日に、天から火と硫黄とが降ってきて、彼らをことごとく滅ぼした。人の子が現れる日も、ちょうどそれと同様であろう。

さて、注目してください、彼は3つの御子の名前而来ます。彼はダビデの子の名のもとに来る…または、人の子、神の子、ダビデの子。

38 さて、彼は預言者だったので、人の子として来なければなりません。エホバご自身は預言者を「人の子」と呼ばれました。そしてイエスはご自身を神の子とは呼ばれませんでした。彼は常に御自身を人の子と呼ばれました。そして気づいてください、彼はその時彼自身を預言者、予見者として明らかにしました。「もし私が父のわざをしないならば、私を信じなくても良い。」と言われました。彼は聖書の中で彼について語られたすべての記述を成就されました、彼の死、埋葬、復活まで。彼の十字架、彼の誕生、すべて。そして彼の御わざの中で、彼は人の子、予見者の記述に関しても成就しました。

39 今、彼は教会時代を通して明らかにされました、今、教会時代を通して、神の子として見て行きましょう。神は御霊、聖霊としてあられます、彼は教会時代に、会衆の中で、人々の間の聖霊として、ご自身を明らかにされました。

私たちは、ラオデキア教会時代、最後の教会時代に彼が教会から追い出されているの見出しています。他の何処の時代でも彼は外には出されなかったのですが、ラオデキア時代ではそうなります。彼等は「自分たちは富んでいて何の不自由もない。」と言っているからです実は、あなた自身がみじめな者、あわれむべき者、貧しい者、目の見えない者、裸な者であることに気がついていない。」彼はその教会時代に外に出されたのです。

そして、ルカ17章によると、彼は、「ソドムから出て行った日に、天から火と硫黄とが降ってきて、彼らをことごとく滅ぼした。人の子が現れる日も、ちょうどそれと同様であろう。」と言われました。さて、彼は私たちが読んだのと同じ創世記を読んでいました。ソドムで何が起こったかに注目してください。ソドムでは何があったのでしたか？アブラハム…

40 常に3つの階級の人々がいます。ソドム自体の外に、選ばれ召命されていたアブラハムがいました。ロト、教会の会員、または宗派の人が下にいた。彼は門の中にいる町の市長になることによって、その世界の一部になった。彼は市長であり裁判官でした。そしてソドム自体がありました。

さて、夕暮れの時、あるいはその日の真ん中に、アブラハムが彼のカシの木の下に居た時に、3人の天使が彼に現れました。彼らのうちの二人はソドムに降りて、福音を伝道して彼ら呼びだそうとしました。彼らはそれをしません。彼らは倒錯されたのでした。ロトと彼の妻だけ、そして彼の娘のうちの二人が出始めたのでした。そしてロトの妻は塩の柱に変えられました。

41 しかし、とどまってアブラハムに話しかけた方、をアブラハムは「全能の神エロヒム」と呼びました。創世記1章、「神!初めに、神よ「エロヒム、すべてに十分な方、自己存在する方。アブラハムは彼を「エロヒム」と呼びました。そして、彼はアブラハムと一緒に座って食べました。彼は飲んだ。彼は人間の肉体の中におられたのでした。そして、彼がアブラハムに与えられたしるしを見てください。

さて、彼らは来るべき子、約束の子、イサクを探していました。25年間、長い旅で彼らはそれを探してい

ましたが、旅の終わりにありました。神は教会時代を通して、また光の中など、アブラハムと声で語られたのと同様の形で現れられました。しかし、次の息子が来られる直前に…さて、私たちはそれを経験しました、そしてあなたはこれを届けるためにただリハーサルしていることをご存知ですね。彼はアブラハムとサラの体を変えて、即座に彼らが息子を受け入れることができるようにしました。

息子が到着する前に彼らが得た最後のしるしは、エホバが人の形で彼らに語っていた事だったことに注目してください。そしてこれがエホバとして彼らが分かったかと言うとなぜなら彼は「アブラムではなく、アブラハム」と言われたからでした。ほんの数日前、神は彼の名前を変えられた所でした。「あなたの妻である、サラはどこにおられますか？」S-a-r-r-aではありません。でもS-a-r-a-h、「プリンセス」。

そしてアブラハムは言った、「あなたの後ろの天幕の中です」。

そして彼は、「私は」それが個人的な代名詞であると言いました、「私は私の約束に従ってあなたを訪問します。定めの際に、次の28日間、サラに何かが起こります。」

それでサラは天幕の中で笑って心の中で言ったのです、「わたしは衰え、主人もまた老人であるのに、わたしに楽しみなどありえようか」。

そしてその御使い、あるいは男は、「なぜサラは、わたしは老人であるのに、どうして子を産むことができようかと言って笑ったのか。？」と言いました。彼の後ろの天幕で！「なぜ彼女はこれらのことがありえないと言ったのですか？」分かりますか？預言者のような人間の肉体の男となりながらも、エロヒムはサラの心の中で、彼の後ろにある考えを識別していました。

42 そしてイエスは言われました、「ロトの時と終わりの日が来る時も 人の子が現れる日も、ちょうどそれと同様であろう。」と

時代を通してそれを持っていなかった。聖書の完全な連続性が分かりますか？今、我々が生きている時代。その奥義：主イエスの御名によるバプテスマでさえ、ワンネスの考えから離れている。そして、これらの他のこと、聖霊がどのようにそれを動かし、それを完全に示したのか。そして、聖霊の真のバプテスマ、印、そしてすべてのものが置かれました。そして彼はどのようにしてすべての改革者とすべてを正確におかれたのか。そして、見てください、私たち自身の目の前で、それは隅にはないのです。世界的に有名なのです。神の御子イエスは、聖句によってご自身をあらわし、その聖書を(今日まであらかじめ定められていたように、今日まで、そして他のすべての日と同じように)生かすのです。そしてそれを信じるこそが、聖霊の証拠なのです。

43 正義、あなたは「教会に行く」だけが聖霊の証拠であると言う事は出来ません。もしそうすることが出来るならば、パリサイ人達でさえも聖霊を持っていたことになります。分かりますか？「シェークしている」とか「ジャンプしている」とかだけで聖霊があるとは言えません。そうであれば、異教徒たちもそれを持っていたことになります。「異言で語る」と言ったら、どの悪魔崇拝が異言で話さないものがありますか？1つ教えてください。

ここにおられるジャクソン兄弟はアフリカから来ています、彼はそれをあなたに言うことができます。私はここでインディアンのカンパに行ったことがあります。魔女と魔法使いが彼ら自身を切り、彼ら自身の血を注ぎ、異言で話します。そして呪術医がそれを解釈し、彼らが鉛筆を置いて未知の異言で書いているを見えています。だから異言が答えではないのです。しかし、もしそれが…

それでは本当の聖霊の証拠は何ですか？イエスは言われました、「あなたは私が彼であると信じている事です。」そして、彼こそがみことばなのです。

44 なぜ彼らはそれが分からなかったのでしょうか？ユダヤ人はなぜそれが分からなかったのでしょうか？彼らは正義の人でした。彼らは善人でした。彼らは聖なる人であり、あらゆる種類の人々がいました。しかし、誰がみことばを聞くようにあらかじめ定められていたのか！

「そして、それが御言葉であるかどうか、どのように分かりますか？一人一人がこれを言います。」

それは聖書がその時代のために立証されたという約束です、それなんです、そしてあなたは聖霊のある場所に戻っていきます。ラッパの音が何を宣言しているかに数分で分かって下さい。ラッパ、福音のラッパ、誰がそれを聞くことができるのかを見てください。覚えておいてください、城壁に囲まれた都市の人々は、ヨベルの喜びの中に出てくることはできませんでした。いいえ、ダメなのです。彼らは壁の中にいた。彼らはそこにとどまりました。それは終わりました。彼らは生涯奴隷であり、印をつけられなければなりませんでした。

さて、これらすべてのパターンを見て気が付いてください。

45 さて、これらの行動、マラキ4章、そしてこれらすべて、そしてヘブル書13:8、「イエス・キリストは昨日も今日もいつまでも変わることが無い。」彼は永遠に御言葉に留まり、御言葉として現れました。それがまさに彼が預言者たちに宣言したことです。預言者とは、「予見者または語り手」を意味するだけではありません。それは「書かれたみことばの啓示者」を意味するのです。彼自身の人生において、彼自身のわざは、その時代の言葉を明らかにし、そして立証します。ノアが箱舟を造るように。モーセはその場所。何であろうとも；その約束はその時代のための約束されたみことばなのです。

46 今、主が我々と共におられることを知っています。我々はそれを信じています。あなた方は、主の御言葉が写真によって、聖句によって、天国での宣言によって、その他すべてにおいて主が言われたすべての事が地上で明らかにされたのが分かります。一度も失敗したことはありません。私は、国のさまざまな場所から、または世界中から、誰でも私に見せてくれるように頼みます。あなたは私に手紙を書いて、どこか一度でも失敗したことがあるならば私にそれを言う義務があります。全ての言葉において一つ一つがその約束が完璧なのです。

47 なぜ彼はこの終わり時に現れたのでしょうか？あなたが戻って、そしてテプリスナーならば、花嫁の木を聞いて、そしてキリストがどこにあったか、エデンの園にあった木なのです。最初のアダムは墮落しました。そしてこの第二のアダムは罪によって切り倒されました。彼らは彼をローマの木に吊り下げました、そしてそれから引きまわしました…彼が約束した花嫁の木が出てきました、私達は今花嫁を知るため聖句の中でそれを見えています。

ピラミッドのように、それが少数派のところに常それが来るのです、大きく広がる場所から、ルター、ウェスリー、ペンテコステ派、そしてその頂上の頭石は研ぎ澄まされており、それらの石のそれぞれはとても完璧に組み合わされています。彼らのやり方はまだわかりませんが、ピラミッドに完全に組み込まれています。そして今、私たちはピラミッドの教えではなく、ただ…

エノクと彼らは何年も前にそれを造ったのです、それが象徴を表しています。太陽が昇って沈むのと同じです。木が葉を落とすのと同じです。魚として、そして牛として、そして他のすべてはそれを象徴しています。そのピラミッドは象徴として立っています。

48 預言者の部屋に行き、7つの階段を見てください。そのガードはどこに来ましたか？どこに来て、王の前に来た者を連れて行くという挑戦をしましたか？階段の一番上のところ。第7段目に。そこには、ヨハネに来た霊と同じ霊が再び来なければならないことが示されています。彼が救世主を紹介しました。彼はすべての預言者よりも偉大でした。ヨハネはそれを紹介しました。そして、我々が、再び、救世主を紹介することになる場所に来なければならないのです。

49 そして、その救い主はどうなるのでしょうか..その彼を信じている人々はそのことを知っています、彼らが御言葉には何対していない限り、彼が誰なのかを知るために！ダニエルは言いました。賢者は知るでしょうが、愚かな賢明でないものは知らないのです。彼らは彼らの神を知るであろう。」さて、今、彼が終わりの日に現れる方法は、人々をみことばに戻らせることなのです。それで花嫁は彼女の夫を知り、彼女の伴侶が、明らかにされたみことばをであることを知るでしょう。だからこそこれが起こらなければなりません。

それは改革派にはなかった。ルター、ウェスリー、そしてペンテコステ派、そして彼らにはなかったのです。聖書はそうではなかったと言っています。

しかし、それは来るでしょう。それがこの時代への主の約束なのです。私たちは主の再来されるべき時代に生きています。彼女は主の内識されなければなりません。女性は夫とともに二人が一つとして認識されなければなりません。そして、キリストの花嫁は彼と同一視されなければなりません。そして彼は御言葉であり、宗派ではありません。御言葉！我々は光の子となるべきであり、光はこの時代のために光とされたみことばなのです。御言葉から来る光以外の光をどのように知るのでしょうか？分かりました。御言葉が造られた肉体がその時代の光なのです、それを見る時そして聖書がそう語っています。

50 彼らはそこでイエスを見て、「この人、彼は誰なのですか？」と言いました。それは彼は私生児として生まれたことになっていました。その理由は、彼の父と母はこれ、あれ、そして他のすべて、そしてそこにあるすべてなのです。」しかし彼らは主を知りませんでした。彼らが聖書を知っていたら、彼らは彼の事をを知っていたら。彼がそう言われました。

彼らは言いました、「我々はモーセの弟子です!」

「もし、あなたがたがモーセを信じたならば、わたしをも信じたであろう。モーセは、わたしについて書いたのである。」と言われました。そして、まだそれを見るには盲目すぎる!

どれほど謙虚か分かりますか?すべての仲間たち、宗派、そして信条、そしてすべてから離れて。神は肉体の中に動かれて人の形をとられ、親戚の人として、贖い主になられたのです。

彼女は彼と同一視されなければなりません。私たちは、光の中を歩く光の子供たちとして招待されています。

51 私はケンタッキーでの事を覚えていました。ここ、少し前に、私は集会を持っていました。わたしが教会を出た後、老人がランタンを持って立っていたのです。彼は癒しなどを信じない教会に属していました。「私はあなたとは違う、ブラナム兄弟。」と言いました。

私は言いました、「まあ、あなたにはそうする権利があります。」

彼は言いました、「私がそれを見なければ、私は何も受け入れません分かりますよね。私はそれを見なければなりません、明白にです。」

私は言いました、「それでは、神を単純に見たことがありますか、神はあなたの前に立っていましたか?」もちろん、彼は幻や物事を信じていませんでした。

彼は「いいえ」と言いました。

「なぜ」と私は言いました。「そうなら、あなたは信者ではありません。話せませんでした分かりますか?分かりますか?私たちは神が約束されたことを理解して、それを握っています。」

彼は言いました、「どうやってそれを理解しますか?」私は言いました…彼は言いました、「さあ、私と一緒に家に来て今夜話してください。」

「そうしたいけど、出来ません」と私は言いました。どこに住んでおられるのですか?」

彼は言いました、「あなたはここのこの山を越えます。」

「どうやってそこに行くのですか?と私は言いました。あなたはあなたの家を見ていません。」ええと。ええと。うん。うん。

彼は言いました、「えーと、丘の上に小道が通っています。」

私は言いました「あなたは道を見ていません」ええと。

彼は言いました、「まあ、私はランタンを持っています。」

私は言いました。「ランタンは家の明かりを見せません。ああ、違います。しかし、その道は家につながるでしょう。しかし、そのランタンは一度に1歩分だけしか光を示しません。」

52 私たちは光の中、美しい光の中を歩きます。主に、一度に一步ずつ近づいてきました。はい。光の子供たちは、彼の言葉を受け入れ、歩き続け、そしてより多くが開かれるのを見るのです。他の誰かが何を言っても、それから離れないでください。そこにとどまり、ただ歩き続け、それが開かれるのを見て、それ自体を明らかにするのです。みことばは種なのです。正しい種類の地面にある種はその種類を生み出すのです。

53 黙示録10:1から7に注目してください。すべての奥義はラオデキア教会の使者(メッセンジャー)によって花嫁に明らかにされます。誰か改訂版聖書を持っていますか?もし持っていれば、そこに「天使」と書かれていることに気づくでしょう。その括弧の中に「驚」と書かれています。分かりますか?ええと。ええと。分かりますか?ラオデキア教会へのメッセンジャー、黙示録10:1~7参照。

そして彼は、「彼が降りてくるのを見たその日に、彼は小さな巻物を食べ尽くす」と言いました。そしてそこには…「彼は片足を陸に、もう片方を海に置き、生きる神に誓い、そしていつまでも、「時はもはやない」と誓った。」そして彼がそうしたとき、7つの雷が彼らの声を発しました。そして7つの雷が彼らの声を発したとき、ヨハネは彼が書こうとしていると言いました。そして御使いは「それを書いてはいけない」と言いましたえ

えと。分かりますか？そして彼はそれを封印しました。

54 さて、誰かが言いました、「さて、その7つの封印、それからブラナム兄弟、それは終わりの時に明らかになるでしょう、私たちは神にどのように近づくのかそれこそがいくつかの大きな奥義なのですか？」いいえ、それはできません。

「この書の預言の言葉を聞くすべての人々に対して、わたしは警告する。もしこれに書き加える者があれば、また、もしこの預言の書の言葉をとり除く者があれば、とり除かれるつまり彼は命の書から取り去られる。」見逃されていた啓示をそこにも戻ってもたすためなのです。すでにここに書いてあります。ここにありますがすでに書かれていることを明らかにするためです。分かりますか？なぜなら、あなたには御言葉に1つの言葉を書き加えたり、そこから1つの言葉を取り除く事が出来ないからです。

55 最初の黙示録の第1章一初めに、聖書の初めは創世記です。1人の女性はそれを信じはしましたしかし、彼女はただ誤解しました、サタンが彼女を誤解させました、一言、「確かに」。分かりますか？そして、その事から、このすべての問題の原因となったのでした。そしてそれは神が語る神のことばでした。

そして黙示録の最後の章で、同じ神であるイエスご自身がこう言われました、「だれでも一つの言葉を取り出すか、それに一つの言葉を加えるならば。」

これがイエス・キリストの完全な啓示です。[ブラナム兄弟が聖書をなでる—編集]そして、七つの封印は、そのすべてが何であるかという奥義を隠しました。そして終わりの時に、ラオデキア時代の終わりにそれを開くことになっているのです。神に感謝しましょう！それこそが教会へのメッセージを終わらせているのです。それで終わりです。彼らが振り返って何が起こったのかを見て、それがどこにもたらされたのかを見ると、教会時代が終わるのです。

56 さて、私たちが話しているラッパが、祭り、戦争、人、ある聖日、またはそのようなもののために集まるためにならされることに気が付いてください。注目。あなたは「人のため？」と言いますそうそう。または、ヨベルの年のために、彼らが戻ることができる時、自由の到来を通知しました。さて、それだけで朝を完全に過ごすことができました。しかし、今、ラッパの時に入っているのです。封印と教会の背景がわかりました。ラッパについて話していきます。ラッパは鳴りました、そしてラッパは戦争か祭りの日のことを表しています。または、それが意味することは、「人々の集まり」、ラッパです。

パウロは言いました、「また、もしラッパがはっきりした音を出さないなら、だれが戦闘や平和その他何でもそのための準備をするだろうか？」誰が知っていますか？ラッパの音を知っている必要があります。

ですから、ラッパの音が鳴るとき、私たちは今日における何かを地上に見ているのです。どこかに大きなトラブルがあります。誰もがそれを知っています。誰もが神経症になったのでした。全世界は神経症の状態であり、私たちは何かの間違っていることが分かっています。国防総省、どこでも、私たちは何かの間違っていることを知っています。

57 さて、ラッパの音が何であるかを知る唯一の方法は、楽譜に書かれている事を見ることです。分かりますか？それだけの事なのです。それは素晴らしい交響曲です。分かりますね。リズムをたたいています。

ピーターとオオカミのように、あなたが…そして、一作曲家が本を書いており、監督は作曲家の御霊と同じでなければなりません。そうでない場合、彼は間違ったビートを与え、そうするとすべてがアウトになってしまうのです。

それが今日の問題です。作曲家の霊ではなく、ディレクターが多すぎます。彼らは言います、「宗派、まあ、私たちはこれを信じています。」

何と言おうとも聖書が正しいのです。ちょうど目の前にある楽譜に合わせて叩きます。神の偉大なわざの偉大な交響曲がちょうど上手く演奏されると、私たちはその時代と立ち位置が分かるのです。

58 さて、ラッパは人々を呼び寄せ、何かのために彼ら自身が集まるのです、注目してください。時々それは重要な人を知らせました。

ヨセフのように、彼らはラッパを鳴らしました、そして、ヨセフは現れました。それはイザヤ書にある「大いなるラッパ」の象徴で暫くしたらそれについて話をします。「その日大いなるラッパが鳴りひびき、アッスリヤの地にある失われた者と、エジプトの地に追いやられた者とがきて、エルサレムの聖山で主を拝む。」とそこに

書かれています。それが至福千年の始まりです。大いなるラッパの音。

59 さて、この呼びかけ、ラッパの祭り、何かの接近。書き留めておきたいのであれば、黙示録8:7に注目してください。私たちは最初のラッパに気づきました、そこには、雹、血、火が地面に散らばっていました。まさに、出エジプトの時、神が彼の民を出エジプトから召された時でした。

さて、これらの七つのラッパがこの教会とこの時代に適用されない理由は、それがイスラエルの為だけにあるからです。それは人々の集まりのための呼びかけなのです。さて、ここで私があなたに理解してほしい一つだけの重要な事があります。数分で、7つのラッパ、これが私たちが生きているこの時代に当てはまらない理由がわかるでしょう。

60 私はそれとは異なる多くの人々を知っていますが、それはこれなのです。私はそれを知っています。私があなたが言っていると言っているからではありません。なぜなら、私は自分自身でそれを手に入れなかったからです。私一私の考えは私自身のものではありません。それが何を言っていたとしても、それが間違っているなら、それは間違っています。しかし、私はそれを私自身で言うのではなく、誰かほかの人が言ったことを言っているのです。他の誰かが私たちに語りかけてくださった神であり、神がなされたすべてのことを成し遂げて現れたので、私はそれが正しいことを知っています。

61 そのラッパはイスラエルを集めるためなのです。ラッパはイスラエルを集めるためなのです。最初のラッパの音に注目してください。血、火、雹、そしてすべてが地面に散乱します。分かりますか？彼は何をしていますか？イスラエルを霊的なエジプトから連れ出し、彼の故郷の地に戻らせてください。

さて、ここでこれを言わせてください、鳴らされたすべてのラッパは第六の封印の下で鳴らされました。それを数分で話し始めます、そこで封印について話しましょう。すべてのラッパは第六の封印の下で鳴ったのでした。

なぜなら、第七の封印では、そこに沈黙があったからです。「誰も、キリストが再び来る時を知らないのです」彼が我々にそれを明らかにしたのです。

62 しかし、すべてのラッパは、ユダヤ人の迫害の下で、第六の封印の下で鳴ったのです。注目してください、黙示録はさて、8章で、7節から始めます。全てはイスラエルへの呼びかけで実際的なことです。エジプトでの物でした。さて今、霊的な意味でのイスラエルへの呼びかけなのです。彼は贖罪の祭りに来る準備をしていたのです。

注目してください、ラッパの祭りが最初でした、それは五旬節でした。贖罪の祭りは、50日後に続きました。贖罪の祭り、ここを読んでください。私たちは、もし時間があれば、それを参考にして聖書からそれを読み取ります。ここではレビ記12章、またはレビ記23章、そしてレビ記16章からです。我々が見出しのは、はじめはラッパの祭りだったのです。贖罪があり、五旬節が続いて、今、私たちが見出しているのは贖罪の祭りはラッパの祭りに続いていたことです。

63 さて、ラッパが鳴りました、そしてそれは彼らを一緒に集めることの為でした。さて、最初のラッパが吹かれました。雹、血、火が、エジプトと全く同じように地球に吹き付けられ、贖いの日への呼びかけの準備ができていました。分かりますか？彼らは真の贖罪を拒否したのです。そしてここ数年はここまで延長され、五旬節の年でした。分かりますか？次に、ユダヤ人のための音が来ます。

これは教会への呼びかけです。しっかりと近くで見てください。さて、その後、彼は彼らを約束の地に連れて行きました。彼は再び、同じことをするでしょう、その中で、彼は象徴的に、教会を約束の地に連れて行くのです。

覚えておいてください、すべてのラッパは第六の封印の下で鳴りました。

64 さて、今、聖書の連続性がまったく同じであることに注目してください。七番目のラッパの下では、イスラエルにとって七番目の封印が教会に対してあったのと同じことでした。私たちは、第七の封印の下で、そこにある祭壇の下にあったこれらの魂が、ローブを受け取ったとき…彼等は神がまだ異邦人との恵みの時代に居たので、ユダヤ人ではなかったのです、彼ら自身がそれを稼いだのではなくローブを与えられました。イスラエルは国家として救われました。神はイスラエルを国家として扱われます。異邦人は「彼の名のための民」であり、彼の名のための国ではありません。イスラエル！

65 そして、ヒトラーと彼らがユダヤ人を迫害し、その下で彼らがしたことをしたことを 見てください、彼ら、ス

ターリン、ヒトラー、そしてこれらのすべての独裁者が立ち上がっていました。時間があれば、何人かの新しい方々にそれをリハーサルする時間がありますが、それは終わりました。同じ時代に、ドイツや他の国々にもユダヤ人がいたのです。世界中にユダヤ人は散らされていました。しかし、過去20年間に、ユダヤ人に対する激しい迫害が起きています。

私は彼らが彼らの体を燃やし、火葬した古い場所にいました、そして彼らの灰を使ってつまりは、ユダヤ人の子供たちと女性とすべてを土地を肥やすために使っていたのでした。それから彼らはそれを否定しようとし、それらをすぐに取り出し、それがどこで行われたかを示します。

それはイスラエルを今、贖罪に呼び戻す時であったので、イスラエルに対する激しい迫害となったのでした。彼はまだ自然の子羊の贖いの下にあります。神の本当の子羊は贖罪の為でありました、彼はそれを拒否しました、そしてそれ以来、血に対する責任が彼の上にあります。注目してください、人々を準備させているのです！それでは、7つのラッパと第7の封印は、完全に一体となっていて、ユダヤ人の迫害です。

66 黙示録の第9章第13節では、第6のラッパの下で基で行われている事に本当にしっかり近く見て気が付いてください。黙示録9:13、第6ラッパの下で、ユーフラテス川に縛り付けられていた20万人の騎手が、第6トランペットの下でゆるくなっていることに注目してください。現在、世界には20万人の騎士がいません。しかしそこには20万人の騎手がいました。そこを注目してください。私はあなたがそれを書き留めて欲しいのです、そうすれば、あなたはそれを読むことができます。

彼らは自然の馬ではありませんでした。彼らは火を噴きました、そして彼らは碧玉の胸当てを持っていました、そして彼らには尾がありました。そして尻尾の端は蛇のように見え、蛇の頭の最後が尻尾に刺さっていました。分かりますか？霊的な馬、霊的な悪魔、追いかける者でした。ユーフラテス川でこれらの年の間ずっと拘束されていたのは、超自然的な悪魔なのです。何でしたか？復活する古いローマ帝国。ユダヤ人の迫害。彼らはほぼ2000年の間拘束されていました、ユーフラテス川で、約束は交差することはできません。反対側に行こうとしていた宗教の分派。ユーフラテス川はご存知のようにエデンを通り抜けます。しかし、彼らはそこに縛られていました、20万の悪魔の迫害。

67 そして、その第6のラッパの下で何が起こるかに注目してください。彼らはユダヤ人たちに解放されました。ユダヤ人の迫害。約2000年の後、超自然的な悪魔は、その後、スターリン、ヒトラーによってユダヤ人に解き放たれた。あなたは「まあ、それはローマ人ではない」と言います。それは同じ霊なのです。彼らはキリスト教徒にしたのと同じことを、古代の異教ローマ時代に行いました。ここで私たちがそれを分離している今、実際の国であるイスラエルと霊的な教会を今見てください。ユダヤ人に解き放った。

あなたは、第六の封印のもとで、これらの殉教者の一人一人が、神のことばに従ってどのようにローブを受け取ったかを覚えていますね。彼らは恵みによって彼らに与えられました、なぜなら彼らは彼らの福音を見ることができないのですと言うのは、この人々は異邦人から花嫁を呼び出すために盲目にされたからです。彼らはローブを与えられた、と聖書はここでそのラッパの下でと言っています。キリストとすべてに絶対的に反対するユダヤ人たち。彼らがそうである理由は、聖書が彼らが盲目にされていると言ったからです。そして、彼らはあなた方のために盲目にされたのです。そしてただ神は彼らがそれを受け取ることを知っています、しかし彼らはあなたのために盲目にされたのでした。聖書がそう言っています。

68 ローマ帝国があり、そこでは教会の力が(何が?)縛られています。ローマ、異教ローマは教皇ローマになり、キリスト教の伝統がそれによって縛られました。クリスチャンのどの部分、そしてローマがこれらすべてをまとめて持っているかのような迷信。女性を崇拜する事、そしてこれらすべての他の種類のもの、そしてクリスマスの日、そして休日、そして聖なる日など。それは本当のクリスチャンの原則に反しているため、伝統に縛られて解放されることが出来ません。まだ同じ不信心な異教の霊！そしてその霊はエゼキエルとほかの預言者達の預言によると、世界の国々をつかみこんだのでした。

そしてそれらは、御霊について何も知らないユダヤ人に対してゆるめられました。あの封印の下に隠されたあなたへの奥義があります。分かりますか？気づいてください。私たちはそれを経験しました。そして、ここでこのラッパ、この最後のラッパ、何が起こるかをお見せしましょう。彼等はそこに居るのです。これらのラッパは、異邦人ではなく、ユダヤ人に解き放たれています。(わかりませんか?)異邦人は、彼らの封印が解かれたとき、封印されました。時間は終わりました。教会は呼ばれたのです。

69 先日のお話を覚えていますか？覚えていますか？そのプレビューですか？何人が覚えていますか、前回の日曜日？どれほどそれが正確に来ていたか。私たちはそれを、教会と呼ばれて居ながらも汚く穢いものが

極端に下品であることを見ました。そして、その小さな花嫁は、すべての国の中で、彼らの出てきた国のように一人一人が身を包み、主の御前を完全に歩きました。

あなたは気づいていますね、何時か「まあ、教会は迫害の前に行くべきだと思っていました。と彼らが言う時が来るです。携拳があったと思いました。」と言う時が

「それはすでに過ぎていて、あなたはそれを知らなかった。」

それが彼がヨハネについて一度言ったことですよ。

「どうして、なぜ預言者たち、律法学者たちは、エリヤが先に来なければならないと言うのですか？」と言いました。

彼は言いました「彼はすでに来ています」そして弟子でさえそれを知りませんでした。「彼らは彼にリストしていたことをしたのです。」

携拳は同じ形になるでしょう。その1時間の中で....彼はそれをすることを約束しました。彼はそのようにエリヤを示すことを約束しませんでした、しかし彼はそのような花嫁を連れに来ることを約束しました。「あなたが考えていない1時間で」瞬きするかの内の瞬間に変えられて連れていかれるのです。その後、あなたが残されるのです、そしてそれがその時です!

70 2千年間、ローマの人々、ローマの教会を通してのこの霊は動くことができませんでした。しかし、同じ霊が、独裁者であるローマのムツソリーニに最初に現れます。あなたはその5つを知っています...

1933年に彼が私に示された7つのことは実現するでしょう。そのうちの5つはすでに起こりました。リー・ベイル博士は、そのことについての本を書いています。わかりますか?5つのことが、完璧に、そしてあと2つの事が起こることになっているのです。「それは主の再来の直前に起こるだろう」と言われました。これで終わりです。6つ目が上に向かってるように見えます。わかりますか?完全に、正確に、戦争とそれらがどのように起こるかさえ、まさにその場で、また一度として逃したことはありませんでした。

耳を傾けてください。皆さん、私たちは1時間ごとにインベントリを取得する必要があります。あなたは私たちがどこに立っているのか分かっていません。本当に近いのです!

71 さて、彼はその第六の封印の下で、これらの20万の霊的な悪魔が、ローマで、またドイツのヒトラが始めました。そして、彼らが受け取った聖書の中で気づいてください、決して...彼らは王として権力を受けましたが、戴冠はされませんでした。独裁者は戴冠した王ではありません。王として権力を受けただけです。

ああ、神の御霊が今私を通り過ぎるのです、何かを言っているだけです。私はそれをどう言うか、何を言うべきかわからない。多分私は知らない方がいい。

72 注目、2万人の悪魔がユダヤ人たちに解き放たれ、彼らが彼らを燃やして、彼らは彼らを十字架につけました。彼らは静脈に泡を入れていました。彼らは彼らを殺すガスがなくなるまでにして彼らを殺した。そして、銃弾がなくなるまで撃ちました。そして彼らは一そして彼らは自分たちができることすべてをしました。彼らは自分の体とすべてを火葬しました。そして、フェンスにつるし、子供達、そしてすべての無実の人々を。彼らはユダヤ人だったので、彼らはそのようにされました。しかし、神は彼らにそれぞれにローブを与えられました。しかし、私たちが見ることができるよう彼らを盲目にしたのは彼の恵みの表れでした。

七番目の封印はまだ開かれていませんね。それは主の再来なのです。

73 ですから、彼らはまだそこにいますが、プレビューでここに私たちを見せてくれます。ヨハネとして、主は彼を取り上げました。

そして、ある時、海の上を歩いて、彼は言いました、「あなたの胸に寄りかかるこの男はどうですか?」分かりますよね。

彼は言いました、「私が来るまで彼が居続けるなら、あなたにとってそれはどうなんですか?」ほら、彼は留まりませんでした、しかし彼は彼を取り上げて、彼が再び来るまでに起こる事をヨハネに示しました。ちょうど彼に示して、ヨハネに全体の計画をプレビューしていました。

74 注目してください、私たちは今、自然のもとで、自然の国家であるイスラエルへのその自然の力がそこ

で失われているのを見つけてます。そして、それは何をしましたか？それは行って戦争をしました、そしてそれによってどれほど殺害され迫害されたか。

さて、それは教会の領域で！私は…あなたは…

神が今あなたの目を開かれることを願っています。何故なら、これはこの教会で話しているだけではないことを理解しているから。このテープは世界中に行きます。そして、私は誰かの感情を傷つけようとしているのではなく、真理を告げようとしているのです

今、教会の領域が開かれました、古い異教のローマの自然のリバイバルから、それらのユダヤ人に出て行きました。そして、それは常に彼らの敵でした。ライオンは、歯とすべてのもので、踏みつけて人々を引き裂いたのです。ローマは常に神の敵でした！そして、それは同じ霊の中で、世界の独裁者たちに緩められました。何故なら宗教体制はいまだにしがみついているからです。今それは緩められました。

75 それは何をしましたか？彼が言ったように「狡猾さ」において、彼は巧言を持ってくるのです。そして、彼は何をしましたか？彼は世界教会のプロテスタントエキュメニカル評議会、彼ら両方に反キリストの霊を連れて来て、彼らが他の人達にしたように、彼らを花嫁を呼び出す時に虐殺に連れて行くのです。どうやって？教会の霊を緩めたのです。何に緩めたの？宗派にはなく 花嫁にです！しかし、ここであなたは分かるでしょう、花嫁はその時を経験することはないのです。聖書はそうならないと言っています。教会は経験するでしょうが、花嫁はしないのです。分かりませんか？ミニスター達、あなたはそれを理解することができませんか、兄弟たち？

あなたは「教会は迫害を経験しなければなりません、そのために、それは完璧です。」と言います。イエス・キリストの血が花嫁を完成させます。

妻を選ぶときに男性は、彼女に多くの罰を与えません。彼もまた彼女と一緒に恵みを見つけました。彼女は彼に恵みを見出すのです。彼は彼女と婚約します。そして、もし何かがあるならば、どんな場所からも彼女が安全にあるように守るでしょう。彼の恵みは彼らにとっても素晴らしいものです。

76 そして、それは花嫁の上にもあるようになり、また、花嫁の上にもまた既にあるのです。私たちは地獄にふさわしいものですが、神の恵みが地獄に行かないようにとどめて下さるのです。何人が失われていて盲目なのか見てください！私が救われた時、沢山の沢山の罪びとが世に居ました！神は私をある目的のために救われました。そして、私は御心によってその目的を果たすと決意しています。他に何があっても気にしません。御心の仕事をしたいのです。

そして、私がすべての教会を見る時、彼らの偉大な魅力があるのを見る時、「豊かになった、なんの不自由もないと言っているが、実は、あなた自身がみじめな者、あわれむべき者、貧しい者、目の見えない者、裸な者であることに気がついていない。肩をたたきあって、彼らと一緒に妥協してほしいと思っている。と彼らは言うのです。私はその目的のために生まれました、それはそのことを非難し、呼び出すことです。これは私がする事なのです。

覚えていますね、イエスが地上に来られたとき、イエスがここにいることを知っていた人は地球上に100万人もいませんでした。彼はその選ばれたグループを迎えに来られるのです。「私をつかわされた父が引きよせて下さらなければ、だれも私に来ることはできない。そして、すべての父がと過去形で、「私に与えられた者達は、来るでしょう。」言われたのです。彼らはそれを知るようになるでしょう。彼らはそれを聞くでしょう。」

77 この教会の霊が解かれていることに注目してください。さて、20年後、その戦争の後、私たちは教会の霊が緩められているのが分かっています。何の下で？第7の封印；ユダヤ人への第七番目のラッパ。

月が暗くなるのを見てください。何の下で？それが引き出され、人の子が教会から追い出されているのを見てください。

それは何ですか？いわゆる教会の集まりに加わる。エキュメニカルな動き、そして世界教会協議会がともに働き、すべての人を駆り立てました…その事実は何のためなのですか？なぜなら、あなたは福音主義的な教えや物事にすべてを明け渡すことになるからです。「ふたりの者がもし合意しなかったなら、一緒に歩くだろうか。」彼らにそうする事はできません。イエスが彼等はできないと言われました。そして、どのようしたら教会、メソジスト派とバプテスト派がともに歩くことができるのでしょうか？チャーチオブクライストがどのようにして長老派の人々と歩むことができますか？カトリック教徒はどのようにプロテスタントの信者と共に歩む

ことができるのでしょうか？プロテスタントはどのようにしてプロテスタントと一緒に歩むことができるのですか？

しかし、花嫁はキリストと共にあるみことばと共に歩むことができます。それは一致している必要があります。教会のシステムではありません。しかし、みことば。みことばと歩むためには、みことばに同意する必要があります。イエスはそう言われました。それは正しくさせています。

78 注目してください、彼女は今そこにいます。彼女は解き放たれ、これらすべての小さなばらばらの者達を、「ああ、まあ、とにかく何の違いいもたらさないでください」と呼んでいます。

それがサタンがエバに言ったことです。「なんの違いいも作るな。大丈夫です確かに、神は良い神です。彼は私たち全員を愛しています。」彼はそうではないのです。

あなたはそれが良い神であることについて多くを聞きます。彼は善良な神ですが、善良であるには正義でなければなりません。正義なくして善はありません。法なし、罰なし、刑罰なしの正義はありません。だから私たちはその時代にいます、それが私たちは生きている時代です。

79 すぐに、これらの超自然的な悪魔に気が付いてください。それから、国連の支援の下で、東洋と西洋のグループを結集しました。

ダニエルが見た画像の右足と左足のよう、彼らがどのように合意せず、互いに混ざり合わないか。そして、アイゼンハワーという言葉がその時代に…アイゼンハワーは「鉄」を意味します。フルシチョフは「粘土」を意味します。そして彼は彼の靴を脱いでそれを打ちました[ブラナム兄弟が説教壇をノックします一編集]国連の机の上ででした。フルシチョフがしたのは、ほこりを払い落とす…ああ、何と言う事！私たちが生きているこの時代！教会とその状態！

しかし、神に感謝します、小さな花嫁は彼女自身を整えているのです。もう長くないのです。ただしっかり待っていてください。それほど長くはならないでしょう。どれくらいの期間、いつなのかはわかりません。誰もそれは知りません。しかし、私たちはそれが今、現実に近いことを知っています。

80 エクレシアを見てください。それが彼らのユダヤ人たちに何をしたか、それを見てください。それは神の律法を守る人々でした。どれほど沢山の教会が立ち上がったとしても、何でも彼らは、キリストに対して盲目にされており、その律法にしがみついていた。そして神は彼らに衣を与えました、なぜなら彼らは殉教したからです。分かりますか？彼らは一彼らは…彼らは私たちのために盲目でした。

ここでは今、その教会は、聖書だけを知っているのです。教会のシステム、宗派に関係なく、彼らはそれについて何も知らないのです。それは彼らには全て別物なのです。彼らは主を知っており、主だけを知っているのです。

81 今日の人々はある意味ペテロの様で、彼らは変容の山の上にいるのです。彼らは超自然なしたことを見て、みんな熱狂し、「私たちは預言者の教会を一つ作って、モーセのために一つ作る」と言いました。

そしてその人々はそういう風で、ペンテコステ派もそうです。彼らは言いました、「我々は、アッセンブリーオブゴッドを一つと、チャーチオブゴッドを一つと。ワンネス。そして、もう一つはツーネスを作る」などのように。

しかし彼はまだ話していなかったのですが、「これはわたしの愛する子です」とエホバが声をあげて言われました、彼は御言葉である、「彼に聞け」。と分かりますか？彼は御言葉なのです。

82 私たちが生きているこの時代、いわゆる教会の集まり、霊の集まりが今一緒になって、すべてをこの大虐殺に連れて行き、消し去るのです。組織内にいない限り、これらのこの国の教会は閉められることになるとここに書かれています。それは組合であり、獣の印のようにボイコットなのです。

そして今、あなたは獣が何であるかを知っていますね？それは権力なのです。そして、権力、教会の力、とイエスは言われました、「それは本物のようにとても接近しているであろう、もしできれば、選ばれた者さえも欺こうとする。」しかし、彼はその日、私たちのためにここに何かがあると約束されたのです。私たちがだまされないように、そしてそれがみことばであり、キリストがそれを私たちに顕現させることによってです。彼らは超自然的で悪魔であり、目に見えませんが、彼らが何をしているかを見ることができます。分かりますか？

83 そのグループが乗っていて、彼らが同意しないすべてのものを踏みにじる準備をしている間に、別のグループが準備されています、しばらくして、黙示録19章です、注目してください。教会が次に聴かれるとき、彼女はまた、正確には馬に乗ってではなく来ます、しかし聖書は「彼は白い馬に乗っていました、そして天の軍勢は白い馬に乗って彼に従いました。」と言っています。そうですか？

ここのこのグループはユーフラテス川で2千年の拘束を受け、2000年の間拘束されてきましたが、その教会は殉教をさせて、そして教会時代の下で約2000年間聖霊を拘束しました。ユーフラテス川ではなく、信条や教義の扉の入り口に縛られています。人工的なシステムのために聖霊が教会で働けないのです。しかし、彼女は解放されるでしょう、彼女は戻ってきます、そのように聖書が語っています。そして、その二人は戦場でお互いに会う事になるのです、ルシファーとミカエルが最初に会ったのと同じように再び会うのです。彼らは2000年、ほぼ2000年の間拘束されてきました。

84 正確には2000年ではありません。ローマ人は引き続き、ティトゥスが紀元後96年からユダヤ人を殺し続けたからです。ローマ人！ユダヤ人を殺したのは誰でしたか？ティトゥスとは誰でしたか？ローマの将軍。血が門を下って、あちこちの門まで転がり、ああ、そして彼ら、女性、子供、そしてすべてのものを殺したのです。エゼキエル9章でそうなるだろうと語っていませんでしたか？「都の真ん中に行き、ため息をついて泣く人々に印をつけなさい」聖霊。そして、彼らの残りの者、「虐殺者が出て来る」、それは縛られていました。彼らを握って、彼らが出て行き、そこにあるすべてのものを虐殺するまで、彼らを握っていたのです。小さな女性達、女性達、子供、赤ちゃん、そして他のすべてのものは、すべて虐殺されたのです。その通りです。

ここでも、それ自身が繰り返されるのです。そして、ここに教会のシステムが戻ってきて、窒息させて、神と呼ばれるすべてのものを踏みにじているのです。ああ、彼らは彼らのシステムと組織と宗派を得ました、しかしそれらは聖書とは何の関係もありません。彼らはそれさえも信じないとすぐにあなたに言うでしょう。はい。「教会が言うことを言ってください。」

85 それが神が言われることです！それが御言葉です。花嫁は御言葉と共にあります。彼らは一つなのです。どうすれば彼らは一つであることになるのでしょうか？その御言葉が、そこに書かれているときに、あなたの中に居るようになり、あなたを造りみことばと一つになるのです。それがまさに彼が約束したことです。

その後、それを解釈します。神はそれを解き明かす者を必要としません。彼らは言います、「まあ、私たちはそれをこのように解釈します。」とあなたには何も解釈する権利はありません。神はご自身で解釈をされます。神様が「光あれ」と言われ、光がそこにありました。誰がそれを解釈するのですか？彼は「処女が身ごもる」と言い、彼女はしました。解き明かしの必要はありません。すでに解き明かされています神はこれらのことがこの時代に起こると言われました、そしてそうなのです。それには解き明かしは必要ありません。それ自身が解き明かしをします。何と言う事！

86 黙示録9:1、第5のラッパの下で、彼らの王…注目してください、黙示録9:1、さて、20万頭の馬を持つこの偉大なグループの王。彼らには王がいて、もし我々が気が付くならば、それは流れ星でした。「橋明の子、明けの明星よ、何故あなたは天から落ちてしまったのか？」ああ、スミス博士がどうやってそれをそこまで混乱させたのか、しかし、それは大丈夫です、と言うのはそれは彼の時代の為ではなかったからです。わかりますか？大丈夫です。「底なしの穴だった。彼らの王は底なし穴の王だったのです。」

黙示録17:8。ここに何か書きました。私はそれを読むつもりです。黙示録17:8をご覧ください。私はそれがここで何を言っているのかを見たいのです、なぜなら私はこれをただどうやって話すべきかがわからなかったからです、17:8。

あなたの見た獣は、昔はいたが、今はおらず、そして、やがて底知れぬ所から上ってきて、ついには滅びに至るものである。地に住む者のうち、世の初めからいのちの書に名をしるされていない者たちは、この獣が、昔はいたが今はおらず、やがて来るのを見て、驚きあやむであらう。

わかりますね、「あった」、一人の教皇が死に、別の教皇があげられた。「この獣が、昔はいたが今はおらず」それはその順序を変更しないでください。それは教皇です、同時に、すべて。すべてが同じシステムに入る必要があります。

87 そして、それはどこに来ることになるのでしょうか？「底なしの穴に。」そして、聖書はここでこう言いました、「これらの仲間のリーダーは底のない穴から来ました、そしてそれは彼らの王でした」そして彼は三重の冠を持って進み、彼とともにプロテスタントに加わりました。

先日、ルター派の司祭が言うのを聞きました、あるいは、ルター派の説教者が言いました。「まあ、人々は、私に何故襟カラーを付けるのですかと尋ねます。彼等はそれは、とどいう風に言えるのか。あなたはそこに居たのですか？[兄弟は言います、「はい。」— 編集。]ええ。そして、それは馬鹿げていませんでしたか？私—私は吐きそうな気分を感じ、説教壇を歩きおりました。彼らは言いました、「違いはないはずです。」と

もしルター、マーティン・ルターがそれを聞くならば、彼は彼の墓で引き返して、「偽善者よ、あなたは私の階級に属していません。」と言うのです。ええと。分かりますか？

しかし、それがどこにあるか知っていますか？「違いはありません。」

88 違いはあります。個人差さえもあります。神は「わたしとパウロとバルナバを分離させなさい」と言われました。その通りです、そのわざのゆえに離れさせなさい！神は分離器であり、ミキサーではありません。分離…教会は今日、水着やショートパンツ、その他すべてを身につけて外に出てそれを続けることができる優れたミキサーを求めています。しかし神は言われました、「私と分離させなさい！」あなた自身が世から離れましょう！

89 啓示により我々がここで見出すのは、「彼らの王は底のない穴から来た」そして「滅びに行った」のと同じものが出来て来て出て行ったことが分かるのです。

レビ記の23章において、御言葉による秩序の解釈がどれほど完璧であるか、そして私たちが今与えようとしていることに注目してください。これを見てください、その秩序。今気づきました。さて、少しの間だけ聖書を開いて読みましょう。伝道の書、いえ伝道の書ではなく、レビ記です。レビ記23章、ここではこれに注意してください。レビ記23章です。そして、私たちはこれを決して見逃さないようにしたいので、主が私たちのためにここに書かれたとおりにそれを理解する事ができるのです。私は確かに出エジプト記でレビ記を見つかることができませんよね？よし、さてレビ記です。「そして主…」23章。

主はまたモーセに言われた、「イスラエルの人々に言いなさい、『七月一日をあなたがたの安息の日とし、ラッパを吹き鳴らして記念する聖会としなければならない。』

分かりますか？

どのような労働もしてはならない。しかし、主に火祭をささげなければならない』。

主に火で造られた物をささげなければならない。

さて、見てください。今気づいてください。

主は言われた、モーセに言われた、

また、第七月の十日には贖罪の日があります：…

90 ほら、贖罪はそのラッパの音に従ったのです今すぐ見てください。贖罪はラッパの音に従いました。分かりますか？なんて美しいのでしょうか。分かりますか？贖罪の日にはラッパに従ったのです。

さて、さて、ラッパの50日間は、ラッパがペンテコステ(五旬節)で鳴った事を象徴しています。それは50日間でした。さて、この後、ユダヤ人はそれを拒否したのでした。

さて、ラッパは彼らとその贖罪に呼び戻すことためなのです。彼らが拒絶した贖罪を見てください。そして彼らは私たちの目が開かれるように拒絶したので。彼らの目は閉じられました。そしてこの間、これらの封印が開かれ、ラッパが吹かれました。そして今、ラッパの吹かれている中で、メシアが来る直前に、彼らはパレスチナにいないからなのです。そして、あなたは神がパロの心を堅くしなければならなかったことを覚えています、彼らをエジプトから追いだすためにです。そして彼はスターリン、ムツソリーニ、その他すべての人の心を堅くさせて、約束の地で14万4千人が居る場所に。

そして今、初めて数千年、2500年後に、イスラエルは独自の旗、独自の軍隊、そしてすべてを持つ国家であり、そしてそれは国連で考察済みなのです。それ以来初めての事です。地球上に振られた最古の旗が、このとき再び羽ばたいているのです。ダビデの五芒星、六芒星です。主は彼女が戻ってくるであろう終わりの時にその印を立ち上げると言っていました。私たちは終わりの時に居るのです。疑いの余地はありません。我々が生きているこの時代。

91 さて、直ぐに黙示録9章の第7のラッパの下で、「彼らの王は底のない穴から来ている」ことに気づいてください。

それからレビ記で、今、みことばによる解き明かしがどれほど完璧であるか!なぜなら、直後にペンテコステのヨベルの 때가贖いの日に続いたからです。祭りの時の順序。ペンテコステの祭り と贖罪の間に、贖罪のためのラッパの音がペンテコステの祭りでそれは長い期間だったのです。見てください、ペンテコステの祭り、ラッパの音、ラッパの音、ラッパの呼び出す音まで、長い時間がありました。長い期間。率直に言って、五旬節の祭りから贖罪の祭りまで、50日間でした。さて、50日はちょうど7安息日なのです。

92 そして7つの安息日は7つの教会時代、教会時代なのです。わかりましたか?分かりますか?分かりますか?五旬節(ペンテコステ)の初穂が教会に注がれている間、今、ユダヤ人は盲目とされ、その間ずっと待っていたのです。そして、私たちは殉教者時代を経て、そして改革者時代を経て、そして召命の時代になりました。3つのセクション、同じ御霊; 父、子、聖霊も同じ一つなのです。分かりますか?しかし、七つの教会時代、七つの安息日でした。

ペンテコステ派のヨベルのラッパから…ペンテコステのヨベルの祭り、…までの7つの安息日迄ちょうどその間…穀を振って、それからペンテコステ(五旬節)のヨベル。そして、それから、あの償いは贖罪まで7回の安息日、50日であり、50日の終わりに、贖いがなされるのです。分かりますか?さて、これはタイプでした、教会は…

93 彼が明らかにされたとき、彼自身が神の御子として、聖霊のバプテスマとして教会に明らかにされてきました。時代を通して、ペンテコステ派の時代においてどんどんどんどん増えていきます。ルターの下での義化、ウェスレーの下での聖化、聖霊のバプテスマ。

94 さて、ここに呼び出しの 때가あります。第六の封印で、それが解かれたとき、迫害は文字通りの立場でユダヤ人を襲いました。そして教会の迫害が教会の立場から来ます。なぜなら、花嫁はすでに呼ばれているからです。安息日は終わりました、そしてユダヤ人が呼ばれる準備ができています。どこへ?贖罪の祭り。ああ、教会、それが分かりませんか?贖罪の祭りに呼ばれ、贖罪を認める。ニワトリやガチョウ、そして彼らがしていることはもうなくなるのです。「世の初めからの神の子羊が殺された」イスラエルはそれを知ることになっているのです。

95 注目してください、これは素晴らしいことです。ほら!ああ、何と!聖霊は宗派によって拘束されてきましたこの2000年間ずっと。私たちはそれを知っています。さて、安息日に気づいてください。7回の安息日です。彼等はそれから完全に離れる事は出来ないのです。聖書は、「昼も夜もない日があるでしょう」と語っています。

「そしてすべての聖句」とイエスは言われました、「成就されなければなりません。」それは正しいですか?「アーメン」と言ってください。[会衆は「アーメン」と言います。-編集]

預言者は言いました、「そこには長い連続した日がある(主はこれを知られる)。これには昼もなく、夜もない。夕暮になっても、光があるからである。」

それは何でしたか?東で輝く同じ太陽は、西でも同じ太陽が輝くのです。

毎回、その太陽が昇り、渡り、沈むたびにあなたの人生を意味するのです。生まれたばかりの赤ちゃん、弱い、朝の。八時ごろ、学校に行きます。11時半です。学校の外で、それがその日の一番暑い時間です。それから、それは50歳に、60、70、80、90に動き始めます。彼女は向こう側に渡って死にます。ただ翌日に戻って、「生、死、埋葬、復活がある」と言うのです。

96 そして、気づきなさい、文明は太陽と一緒にいったのです。私たちが持っている最古の文明は中国です。誰もがそれを知っています。

聖霊はどこに降りてきましたか?東洋の国で、東洋の人々に。そして、福音は太陽とともに旅しました。どこから来たのでしたか?東から、ドイツへ、ドイツからイギリスへ…その海峡を3回渡った。地中海からドイツへ、ドイツから…地中海から、東からドイツへ、地中海を通して。ドイツからイギリス海峡を越えてイギリスへ。イギリス海峡から太平洋を越えて…または大西洋からアメリカに。

そして、彼女は今、西海岸にいます。彼女は彼女が文明化した国を渡って行き、そして行き続けました。文明の旅; 福音も一緒に旅しました。さて、すべての屑どもは西海岸におり、そこでは津波のようにすべての

ものが拾ってきました。

97 しかし預言者はこのように言いました。「御子はこの時代を通しては輝くことはなくなりそれは 憂鬱な時代になるでしょう。」それらは本当の雨の日のように十分な光を持っています、彼らは教会に参加して主とそのようなことなどを信じる事も出来たのでした。しかし、彼は言いました、「夕暮れ時になると、雲は遠ざかり、宗派は衰退します。」そして同じ福音、同じことばが肉体を取ったのです、彼がルカ17:33で約束したように。同じこととともに同じ福音が夕暮れ時に起こります、ちょうど影が低くなっているときです。同じ福音、同じキリストが最初は肉体の向こう側に住んでいました、東洋の人々は、終わりの時に西の人々の内で再び生きるでしょう。「夕暮らなくても、光があるからである。」

「聖書は、すべて神の靈感を受けて書かれたものであって、壊されることはあり得ない。」

98 大きな50日が過ぎました。ペンテコステの祭りは終わりました、7回の安息日。ラッパのなるときまで、第7教会時代のタイプ。覚えておいてください、第六ラッパの下でユダヤ人…聞いていますか？[会衆は「アーメン」と言います。一 編集。]第六ラッパの下で、ペンテコステ派は聖書を拒否しました。ペンテコステ派だけでなく、残りのすべての生ぬるい者たち。教会の世界はキリストを拒否し、彼は外に置かれます。そして同じラッパの中で…そして、同じ封印、むしろ、それが解かれたとき、教会の外におられるイエスを示し、戻ろうとしました。同時に、ユダヤ人のためのラッパの音でユダヤ人は贖罪を認識します。栄光！ハレルヤ！ああ、素晴らしい！

聖霊はこれらの宗派の川によってほぼ2000年の間縛られてきましたが、夕暮れの時のメッセージによって夕暮れの時に解放されることになっています。聖霊は再び教会に戻りました。キリスト、彼自身は、人間の肉を取って、夕暮れの時に明らかにされました。彼は言われました。彼はそれを約束しました。

99 私が言ったように、それには3つの段階がありました。殉教者、殉教者の時代。そして改革者の段階。そして今が、呼び出す時。

終わったとき、黙示録10章によると、ラオデキア時代に、すべての聖書の奥義は花嫁に知られるようになるでしょう。そうですか？[会衆は「アーメン」と言います。一 編集。]黙示録10章。今しっかりと聞いてください。ええと。御言葉によって呼び出された花嫁。キリストご自身が花嫁に呼びかけ、ヘブル13:8を明白にして、彼は「昨日も今日もいつまでも変わることが無い」変わらないと言うのは同じと言う事なのです。「わたしを信じる者は、またわたしのしているわざをするであろう。」分かりますか？ルカ書22章…または、ルカ17章30節、そしてマラキ4章、ヘブル4章12節、約束されたこれらすべての聖句は、これは第6と第7番目の封印の間、そして第6と第7番目のラッパの音の間にあることです。

100 ペンテコステの祭りは、第7のラッパの期間に終わります。次には第7番目の封印は、次はキリストの再来の奥義であり、そしてラッパはユダヤ人に対する音なのです。彼らの第6の音があり、そしてそれがあるとき、それは彼らに神の明らかにされた御子を知らせるのです。半時間の空間。覚えておいてください、すべてのラッパはこの第6の封印の時に鳴ります。第6の封印は、第7の封印が解かれる直前に、第6の封印の下で奥義を解き明かします。

101 注目、ここにレビ記23章26節があります。その聖句はなんと素晴らしい！ペンテコステの長い期間の後、イスラエルはそれを拒絶しました。そして彼はこのペンテコステの祭りを通して異邦人の教会を呼び出したのです。ペンテコステの祭りが何であるかを理解している人はどれくらいいますか。それは…収穫の初穂、復活の初穂、ペンテコステの祭の実なのです。

皆さん、これを見間違いないように！そして、テープで聞いている方も、よく聞いてください！

これはペンテコステの祭の時でした。ユダヤ人は黙っていました。彼らはそれを拒絶したのです。さて、彼らは贖罪に呼び戻されなければならないのです。私たちは贖罪が誰であったかを知っています。彼らは知りませんでした。そして、ペンテコステのヨベルの後で、ラッパの音がユダヤ人を共に集まるように呼びます。ヒトラーと彼らの下での迫害のそのラッパが爆発音をたてたか分かりませんか？そして、ユダヤ人たちは聖書を成就するために集まることを余儀なくされました。

もうわかりましたよね？分かった方はみんな「アーメン」と言ってください。[会衆は「アーメン」と言います。一 編集。]いいですねよし

102 ここ、レビ記、26章、聖句の順序に注目してください。ペンテコステの長い期間の後、それは花嫁の呼

び出しで終わります、花嫁は神のしもべによって呼び出されるのです。拒絶した者は、次に、贖罪の祭であるイスラエルに知らされる。注目してください、ここはレビ記16章と同じです。彼がペンテコステの祭、または贖罪の祭を命じたときですが、この場所で彼らは召命されています…

ああ、正に完璧だ!説教者達、理解してくださいね。分かりますか?ミニスター達、聞き間違えないように。

ペンテコステのこの祭りは、レビ記23:26、または23章と24章で表されており、贖罪の祭で、殺すのではなく、祭りなのです。祭は殺されました…むしろ贖罪は殺されました。贖罪は殺されました。レビ記16章、それはまさにそれと平行しているのです。この場所でのみ、彼らの罪を悼むためにイスラエルが呼び出されているのです。正に今日において完璧ですね!それはそれを再び殺すことではありません。モーセは二度目に岩をたたくことによって象徴しました。それはうまくいきませんでした。殺すことではなく、祭りしかし、贖罪を拒んだことへの嘆き。ああ、何と言う事!これはラッパになります。祭、拒絶された、その後彼らの救世主は誰なのかが知らされました。

103 注目してください、彼らは彼を見る時に彼らの救世主を知ることになるでしょう。彼は権力の座についています。今度は彼らが探していた方なのです。彼は異邦人の花嫁のために権力を握り、ユダヤ人は彼を認めるでしょう。そして聖書はこう言っています…私たちはここでそれについて説教をし終えた所です、約半年以上前です。聖書では「彼らはどこでその傷を負ったのですか?」言ったと書かれています。そのメッセージを何人が覚えていますか?手を挙げてください。確かに、あなたは…分かりますか?「どこでこれらの傷を負われたのですか?」

彼は言いました、「私の友達の家で」と

わたしが説教したことを覚えておいてください。ヤコブがイスラエルの子供たちを物や食べ物や物を手に入れるために送った時、そしてヨセフが彼らを知らなかったように振る舞ったことを覚えています。そして、これらすべてがどのように続いたのか、そして彼は彼自身を知らしめましたか?覚えていますか?そして彼らはとても怖かったので、泣きました。ヤコブの問題と同じです。

そしてここで私たちは迫害を受けているユダヤ人を見出だしています。彼らが今どこにいるのかは分かりませんが、彼らは戻ってきます。

そして、彼らが贖罪が現れるのを見たとき、聖書は「彼らがそれを見たとき」と言っています。彼等は言いました、「彼らはその日々のために一つの家が分かれて、家族が彼ら自身の息子を失ったかのように泣き続けるのです。」「どこで傷を負ったのですか?」

彼は言いました、「私の友達の家で」と分かりますか?

104 覚えておいてください、花嫁はすでに天国にいます。ヨセフの妻は宮殿にいました。そしてヨセフは彼の周りの人々をすべてを解散させ、そして彼は彼自身を彼の兄弟たちに知らせました。ほら、彼の妻と子供たち、そして彼らは彼がユダヤ人である彼自身を知らせようと宮殿に戻って行きました。贖罪があります。あなたの音が鳴るラッパがあります。彼らが「ああ!」と言うところがあります。それは何ですか?贖罪があります。「それらの傷はどこから来たのですか?」これです。

「私の友達の家で。」

ヨセフの兄弟達が言ったことを覚えていますか?どうして、彼らは「さて、我々は間違いなく殺される」と言いましたか?私たちはそうしたのです。私たちはそのような悪を行いました。」

彼は言いました、「いいえ、神は命を救うためにこれを行いました。」創世記の話を覚えていますか?分かりますか?分かりますか?だから異邦人である花嫁の命を救うために、このようにしてくださいました。「私は彼らを私の友人の家に連れて行きました。でも怒ってはいけません。自分を恐れてはいけません。」と言われたのです。

105 彼らは言いました「ああ、何と素晴らしい!私たちは実際に彼を見逃しましたか?それは贖罪でしたか、そして私たちはそれを逃しましたか?おお、神よ!」そして彼らは言いました、「彼らは彼ら自身が分かれて、数日間嘆き悲しんでいます。」それは何ですか?贖罪; 悲しみ。今回、再来を知らせる事、贖罪は、レビ記16章のように殺される通常の贖罪ではないのです。しかし、レビ記23章で言っているのは、彼らの罪のための嘆きの時です。そして、彼らの罪はそうでした、彼らはそれを拒否しました。

ああ、我々がどこにいるか分かりませんか？だからラッパは私たちにとって何の意味もないのか分かりませんか？それらはすべて私たちの第6の封印の下で鳴り響きました。聖霊が私にそれを話させなかった理由が分かりますか？そして、天のお父様は、私の前にあるこの聖書をもって、それが真理であることをご存知なのです。昨日まで、一昨日まで知りませんでした。彼がそれを私の部屋で、私に来てそして私に話しかけて明らかにして下さったのです。私は戻ってきて、言ったのです「私の妻よ、私は今それが分かりました彼はそこで私に会い、私に話しました。ハニー、これがそれですよ。」と分かりますか？分かりますよね、そこで見えるようにそれは完璧に調和しているのです。

ああ、主を持っていない人たちよ、早く入って！それはあなたが得ることができる最後の機会かもしれません。あなたは彼がいつ来るかは、知らないのです。

ラッパの祭。聖書には、「彼らは一人ずつ離れます、と言うのはまるで一人の子供を失った人のようなので祈りと涙を流すのです。」と書かれています。

106 ほら、もう一つ言いたいことがある。今、しっかり近くに居てください、これを見逃さないように。なんてすごい！黙示録10章の第7番目の御使い(7番目の封印の使者)のメッセージから第7番目の封印が7番目のラッパまで、これらの2つの間に...

おお、神よ、どうすればこれを人々に理解させることができるのでしょうか？

それはその第6のラッパと第6ラッパとの間にありますそして...第6のラッパと第6の封印が同時に鳴るのです。そして、第六のラッパと第七のラッパの間に、異邦人の前に現れ、人々を元の五旬節の時の教義に呼び戻す預言者がいるのです。黙示録11章の2人の証人がユダヤ人に現れ、教会が連れて上がられている間、彼らをイエスに送りました。彼ら全員、預言者たち！アーメン！主のことばを壊すことはできません。それは宗派ではありません！それが分かりますか？

107 ここであなたの本を読んで、第六と第七のラッパの間でそれが注入されていないかどうかを見てください、ユダヤ人が第六と第七の災害の間で呼ばれているとしましょう、我々はその144,000人に来ます(覚えていますね?)、その間にありました。覚えていますか？第六、第五の封印、第六の封印の間に...第六の封印と第七の封印の間に、十四万四千人を呼び出すと言う呼びかけがありました。覚えていますか？今、これらのラッパがそこにやって来ましたね、迫害されて、そこに馬がそこで自由にされているのです。

そして、その間に、ペンテコステ派に説教し、非難していた第七の御使いのメッセージがありました。そして、イエスは外に出されていました。誰とも協力せず、外に出されて、拒絶されていました。聖書がそう語っています。それは、キリストが私たちの間に現れ、イエスが私たちの間で明らかにされ、御言葉の清さによって明らかにされ、それが知らされたからです。そしてもしそれが...

これは作り上げだけではなく、友達です。これが「主がこう仰せになられると言う聖句」なのです。

108 同時に...さて、この教会(花嫁)が引き寄せられるとすぐに、彼女は引き上げられます。そして第七の封印の奥義、または第七の封印、行くことの奥義。そして、ユダヤ人はエリヤとモーセという二人の預言者である第七トランペットの奥義によって呼び出されて、彼らは戻ってきます。そして、ペンテコステ派にはすべて混同しているところがあります。彼らは何か起こることを探しています。その教会は終わりました。そして、それはユダヤ人にとっても同様です。

109 さて、私は誰かの心の中で、「それはモーセではあり得ないことだ」と言っているのを感じたのです。はい、そうなのです。さて、あなたは覚えていてくださいね、彼はあなたの考えを私に教えてくれます。ええと。ええと。私はそのことを感じ続けています...大丈夫。

あなたのためにそれをはっきりさせてください。それはモーセでした。何故ならば、ここにあなたの考えがあります。あなたは、「モーセ、モーゼは死んだので、モーゼではあり得ない」と言います。あなたはそれがエリヤだと思えます。それはエリヤ、その通りです。あなたが「エノクだ」と思うときあなたは「モーセはすでに死んでいる」と言います。しかし、覚えておいてください、彼は再び生き返ることが出来たのでした。彼は生き返りました。800年後、数百年後、彼は変容の山に現れました。あなたは「人が死んだ後に」と言います。はい。ラザロは死んでいた。蘇ったのです。そして再び死ななければなりません。分かりますか？確かに。ええと。そして、邪悪な者でさえ、再び生き返っても、二度目の死を迎えなければなりません。それは正しいのですか？だからあなたの心からそれを取り出さない。それはモーセなのです。モーセとエリヤが正確に何をしたか、あなたのミニストーリーを見てください。天を閉じて、それに火を吹きかけました。あなたは彼らが何をした

か知っています。

110 考えてみて下さい!終わりの時なのです、皆さん。ハレルヤ!主の大いなる日が近づいています。一緒に集まってください。メシアの祭; 彼らはイエスを拒絶し、彼らの救世主がそこにいることを知るでしょう。聖書は、彼らがこのようなことをすごい事が起こると言いました。

黙示録11章で、彼らのミニストリーは、モーセとエリヤがユダヤの伝統からイスラエルに呼びかける働きになるでしょう。7番目の使者のメッセージがペンテコステ派の伝統の中からの花嫁を呼んだように。モーセとエリヤは、子羊と羊と血と山羊が、イスラエルの古い贖罪からイスラエルを召命するために、生ける捧げものが御言葉が捧げものにされたということを忘れないでください。

111 そして、7番目の使者のメッセージは、同じトランペットの下で、すべてがまったく同じで、同じ封印が、ペンテコステ派と世界の伝統からの人々を、花嫁を真の贖罪、みことば、キリストは肉体を取って人となり。この彼の御言葉によって、私たちの間に肉体を作られたのでした。科学はそれを写真で証明しています。世界中の教会はそれを知っています。私たちはしっかりとそれを知っています、彼が我々に「主がこう仰せられると言われたことの一つで、真実でなかったことがあったでしょうか。「バプテスマのヨハネが送られたように、このメッセージも…」川のそばでこのようには言われませんでした。

私は見上げていました、そして彼女は12時です。真夜中の時間にここにあります、友よ、私たちの上に。聖書がどれほど完璧であるかを理解してくださいね。完璧に、それをどうやって…

112 見てください、それは、いくつかの組織がそこに行って、ユダヤ人に召命をする事にはならないでしょう。モーセとエリヤの二人がそうするのです。彼等は両方とも預言者なのです。

さて、しっかり見てください。異邦人を花嫁として呼び出すために、彼は同じことをすることをマラキ4章で約束していました。

そして聖書は、彼は教会の外に、第七の教会時代に追い出されると語っています。彼は教会から追放されているでしょう。それは完全に真っ黒になってそして…何処が真っ暗闇になるのでしょうか?それはこの教会のシステム、このエキュメニカル評議会、世界教会協議会に暗闇が行くのです。彼女は…彼は完全に消されました。彼の言葉に、彼らはそれに同意することはあり得ないのです。あなたは彼らにそれが出来ない事を知っています。彼らは自分たちの小さな地元のグループにさえ同意することはできません。どのように彼らがそれ(神の御言葉)に同意するのでしょうか?ですから、彼らは獣の別の印、つまり獣へのイメージを取るわけです。覚えておいてください、聖書には「獣に似せて作られた像がありました。」

113 そして、この米国は常に13の数字を持ってきていました。それは13の州、13の植民地から始まりました。13個の星、13個の縞模様。数13、そして常に女性が。彼女は黙示録の第13章に登場します。そして、はじめは、子羊です。柔和、言論の自由、信仰の自由など。そして彼らは権力を受け、龍が彼の前に持っていたすべての権力と話をしました。それは何ですか?その龍とは何だったのですか?ローマ。神の本当の教会に反抗するために、建てられた印、獣の像があります、分かりますね。彼らの宗派の下で、このことが疫病のように広がるでしょう!しかし、彼らがそれを始めるとき:

子羊は彼の花嫁を彼のそばにいるようにします、

すべての天の軍勢が集まります。

ああ、それは輝かしい光景です。全ての聖徒たちがシミも無く真っ白で

そしてイエスと共に、彼らは永遠に祝い続けるのです。アーメン!

「来て、ともに食べよう」主人が呼ばれるのです「来て、ともに食べよう」とアーメン!

私たちが生きている時代、その時!走って下さい、皆さん、自分の人生のために!

114 さて、最後に、第7の御使いのミニストリーに注目してください。2人の証人、第7のラッパの下、直前あるいは、第6のラッパ、ちょうど第7のラッパの直前の第6のラッパ

さて、覚えておいてください、これを持ち帰ると言いました、「偉大なるトランペット」。彼は言った、「イザヤのこの事において彼(主)は何をされるのでしょうか?」彼は言いました、…「大いなるラッパの音が鳴るでしょう。大いなるラッパ!」さてラッパではなく、ラッパの祭。ラッパと呼ばれるモーセとエリヤの二人がいます。しかし、「大いなるラッパ」の下で、主の来臨、ヨセフが戻ってきたことを告げるために、すべての諸国がエルサレムに集まるのです。アーメン。イザヤ書の中でそれが見出せます。少し前に、私たちが読んだ章の1つをお伝えします。それはイザヤ18:1と3にあります。そしてイザヤ27:12と13は彼がその「ラッパ」を鳴らし

ている場所であり、すべての国々が彼女の故郷、彼女が神とともにあることでイスラエルを認めるでしょう。

115 そして、花嫁は花婿と一緒に、花婿は花嫁と一緒に。そして、世界全体が原子力によって破壊された後、偉大なる至福千年が来るのです。そして、「新しい天と新しい地」で永遠に生き続ける事になります。

見て、真下に…さて、注目してくださいね、モーセとエリヤのミニストリーは…今、皆さん分かりましたね？もう一度言わせてください。モーセとエリヤのミニストリーは、第六と第七のラッパの間にあります。彼等は…イスラエルは常に預言者を信じてきました。

116 さて、聖霊が私に向かって始めた時、なぜ彼が神の子であることを彼らに示すために、なぜ「まだ」その時ではないと言われたのでしょうか？5年ほど前に私がインドに行く途中での事を覚えていますか？[会衆は「アーメン」と言います。—編集。]「それはしないように。」とされました。

私は言いました、「彼らは言ったのです、「もしこれがメシアであるなら、彼が預言者のしるしをするのを見せて欲しい。私たちは預言者を信じています。」と

ルイ・ペトルス兄弟と彼らは私にそれらの聖書を送ってくれました。彼らが百万冊も与えるとき、イランから至るところにいるユダヤ人が戻って来て、一緒に集まって、国家となるのです。

「今が私の時代だ」と思いました。私はもう…カイロ、エジプト。

彼は言いました、「今はそれをしないでください。時はまだ熟していない。」とそれから私は家に戻りました。ええと。ああ、何と！

117 モーセとエリヤは呼び出されるのです。ペンテコステのヨベルは今も続いているかあるいはまだこの時代にもあるのです。分かりますか？今ラッパの祭は知られなければなりません。そしてこのマラキ4章のここにあるものは、そのものとは関係ありません。全く関係ないのです。注目してください、ここを見てください、ミニストリーはモーセとエリヤであり、ユダヤの伝統からイスラエルに変えて呼びかけます、彼らが混乱していたユダヤの伝統から離れるのです、聞いてください。彼らは預言者であることを信じるのです。彼らは彼を信じ、贖罪の祭へキリストの召命、キリストを彼らに認めさせるのです。彼等は言うでしょう、「彼は来ている。彼はここにおられる。」とそのような事において、ユダヤ人達は集まるでしょう。

そして、彼が来られた時、「ここにいる」と言われるのです。分かりますか？

「どこに傷痕がありますか？」

「私の友達の家で。」

118 さて、その二人の預言者がしたのと同じ事です！異邦人の花嫁とは、エリアス、エリヤと呼ばれる預言者を、彼らの伝統から離れる花嫁から呼び求めることです。これらの預言者たちがユダヤ人をユダヤ教から呼び出したのと同じように、キリストによる贖いにです。異邦人は贖罪をすでに知っていますが、花嫁を元の贖罪に呼び戻すことです。そこでは、これらの(50の)安息日が…彼らが逃げたこれらの7つの安息日。終わりの時までには呼び戻されるのです。第7…聞いてください！第7の教会の使者である七つのラッパの使者は、すべて預言者達なのです。そう、なのです。

そこに定められていたのは、14万4千人です。

召命、その封印は異邦人に宛てられていました。異邦人に対して解かれたのです、異邦人の教会を見るためには、異邦人に対してでなければなりませんでした。私たちが知っているのはそれだけです。私たちが聞くのはそれだけです。すでに起こったこと。私たちはイエスを探しているのです。

「さあ、ちょっと待ってください、ブランナム兄弟、彼らはこれをやると信じています。」とあなたは言います。

119 最期の印として、アブラハムが…そして、私たちはアブラハムの忠実な種である子孫なのです。花嫁。アブラハムが約束のしるしの前にこれまで見た最後のしるしが来ます…約束の子が来ます、何でしたか？神が、人間の形で、人々の考えを識別できます。12人ではなく一人の人(男性)。どれほど沢山のなりすましの数が居ようとも関係ないのです一人の男。彼らが一つを持っていました、そして彼はその考えがそこにあったと認識したのです。何ですか？そして、次のことが起こりました、アブラハムとサラが若い男性と女性に戻ったのです。我々はその事を知っています。

さて、あなた方が今ちよつとある種息苦しくなっているのが分かります。しかし、覚えておいてください。あなたが今間違いなく分かっているようにするために…あなたはこのように聖書を読みません。あなたは行の間を読んで、そのイメージが来るようにします。

120 気を付けてみて下さい。聖書によると、サラは老婦人でした。彼女、彼ら…「彼女の胎はもう不妊になっていた。」そうでしょうか？「彼の種(精子)、アブラハムの中にある命は死んでいました。」そうだったのでしょうか？

さて、覚えておいてください、アブラハムの種(精子)は死んでいました。40年後、彼には別の女性によって息子が7人いました。彼は何をしたのでしたか？彼(主)は彼らの体を変えたのでした。

見てください、彼らは300マイルの旅をしてゲラルまで行きました、老人にとってはかなり長い旅でした。言われました…

サラは家族関係を持つことさえあり得ないと考えていました。彼女は言いました、「私…」彼らが家族関係を築く前に、おそらく20年以上経っていたのです。「わたしは衰え、主人もまた老人であるのに、若い人の様にわたしに楽しみなどありえようか」と言っていたのです

彼は言いました、「神にとって何か難し過ぎること等あり得ようか？」と

121 何が起こったかに注目してください。すぐに彼女は素敵な若い女性に戻りました。そこで約束された御子を受けるために、彼が忠実なアブラハムの種(子孫)に何をしようとしているのかが描写されているのを見せています。彼女は若者に戻りました…

ほら、彼らはゲラルに降りて行きました。そして、何が起こりましたか？王であるアビメレクは彼女に恋をして、「彼女はたいそう美しい」と言い、彼女と結婚しようとしていました。そうでしたか？老女；そこにいる他のすべての可愛い女の子達。老女、「彼女は美しい。彼女は見るに楽しい。」分かりますか？

神は彼女の体を変えて、彼らを引き返したのです。人の子によって、この時代に今明かされるのは奥義なのです。夕暮れの時代のメッセージを理解してくださいね。分かりますか？戻ったのです！そして、それは彼らが見た最後のしるしでした、身体の変化が来る前の(何?)それこそが識別なのです。

そして、息子を受けられる前に、何が起こりますか？「終りのラッパの響きと共に、またたく間に、一瞬にして変えられる。というのは、ラッパが響いて、死人は朽ちない者によりみがえらされ、わたしたちは変えられるのである」ハレルヤ、「それから生き残っているわたしたちが、彼らと共に雲に包まれて引き上げられ、空中で主に会い」その奥義秘儀は明らかにされました。封印は解かれています。

ラッパはイスラエルのために鳴りました。二人の預言者が現れる準備ができています。それは何ですか？教会は今ちょうど、その景色から降りなければならぬのです、彼らは現れることが出来るのです。彼は同時に2つを扱うことはできません。彼は決してしなかつたのでした。分かりますか？

122 ああ、兄弟、見て！正に、すべての人々を召命し、宗派と伝統から彼らを呼びだしなさい。さて、ペンテコステ時代の教会が終ったのが分かります。

花嫁はその道から離れ、今上がらなければなりません。ですから、黙示録では二人の預言者である二人のしもべがその場に現れたのです、第7のラッパの音によって彼らにキリストに知らせることができます。

第7の御使い、メッセンジャーは言います、「見よ、世の罪を取り除く神の小羊。！」「わたしのメソジスト派、わたしのバプテスト派、わたしのペンテコステ派を見よ。」ではありません。しかし、「みことば、神の子、世界の罪を取り除く神の小羊」で他の基礎はないからです！分かりますよね？

あとどの位時間がありますか？ユダヤ人は故郷の地にいます。花嫁は呼ばれています。聖書的に、すべてはまさに彼が約束された通りなのです。準備ができています。今その時代なのです。

国家は崩壊し、イスラエルは目覚め、

聖書が予告したしるし

異邦人の日が数えられ、悩みによって邪魔されています。

あなた自身に戻って、離されたもの達。

贖いの日は近いのです、

人々は世界に起ろうとする事を思い、恐怖と不安で気絶するであろう。

神の御霊に満たされ、あなたのランプが整えられ、清らかになりますように。身を起し頭をもたげなさい。あなたがたの贖いの日が近づいているのだから！
偽預言者は嘘をついています、彼らが否定している神の真理、イエス・キリストは私たちの神です。(その通りです)
しかし、使徒たちが踏んだ場所を歩むのです。
贖いの日が近いので、
人々は世界に起ろうとする事を思い、恐怖と不安で気絶するであろう。
御霊で満たされ、あなたのランプは整え、清められて下さい(リスクを冒すな)
身を起し頭をもたげなさい、あなたの贖いの日は近いのです！

123 預言者は、「夕暮れに光があるようになる」と言いました。

夕暮れに光があるようになる、
栄光への道はきっと見つかります。
水路で、今日の光は、
イエスの貴重な御名の内に葬られました。
老いも若きも、あなたのすべての罪を悔い改め、
聖霊は必ず入るでしょう。
夕暮れの光は来ているのです、
神とキリストが一つであることは事実です。

私たちはここにいます！私たちは終わりの時にいるのです。それは、人のするある愚かな事ではないのです。それは主が仰せられる事なのです。

頭を下げて祈りましょう。

124 慈悲深い神、エホバ、シナイ山に雷を落とされた全能者。人々は叫びました、「あなた(モーゼ)がわたしたちに語ってください。わたしたちは聞き従います。神がわたしたちに語られぬようにしてください。それでなければ、わたしたちは死ぬでしょう」。あなたは言いました、「大いなるエホバ。「わたしは彼らの同胞のうちから、おまえのようなひとりの預言者を彼らのために起す私はこれ以上このように話しません。」しかし、あなたはあなたがすることを約束し、あなたはそれをなさいました。あなたは私たちを主イエスによってよみがえらせました。彼こそがみことばです。あなたは彼がそうであると言いました。「初めに言葉があった、言葉は神とともにあった、言葉は神であった。そして言は肉体となり、わたしたちのうちに宿った。」

パトモス島で神の預言者であるヨハネを通して、彼がここで私たちに預言した事柄を見ているのです。その書簡に書かれたことの成就が見えるのです。私たちは聖霊が私たちの間でこの地上で顕現している事が分かります。私たちは宗派が彼を教会から追い出したのが分かります。神の御言葉です。彼らは人々に対して何も反対はしていませんでした。彼らが嫌うのはのみことばなのです。それは彼らの伝統に反しているから。あなたが地上におられた時と同じように、あなたはみことばであり、あなたは彼らの伝統に反対していました。そして彼らはあなたを彼らの教会からどこからでも追い出したのです。

125 そして今、主よ、どこにも協力はありません。南アフリカに行ってみてさえも、魂がまだ待っているのがわかります。あらゆる場所で、また、彼らは私を受け入れないようです、主よ。主よ、それは私が原因ではなく、このメッセージが原因なのです。しかし、あなたはそれがこのようになるだろうと言われていました、そしてあなたがそれを知らせておられたので、私たちは落胆しないのです。私たちが生きているこの時代が分かっています。

神よ、これらの人々は今朝、このこの暑い焼けてしまいそうな部屋に座っておられます。彼らはしっかりと耳を傾けて聞いていました。彼等は今間違いなく分かっています。彼らが見えていないならば、それを彼らに顕かにして下さい、主よ、なぜあなたが私がそれらのラッパについて話すことを許可されないかを。私たちとは何の関係もないとみなしています。その第6のラッパでまさにそれが起こったのです、そして我々は第6の封印が解かれているのを見ました。そしてここで、私がここで言ったように、2週間前に花嫁と教会のプレビューの幻を見ました。主よ、あなたが私に示したように、私はそれについて語りました。はいここに居ます。我々が思っているより遅いかもかもしれません。

126 おお、父よ、今朝ここに、それは迷信、神学的影響、または神の言葉に反する神学者の言葉をとっただけの人がいるならば！そして、彼らは本当のキリスト、本当の聖霊を知りません。彼らには、今日のために開かれているみことばがまだ明らかにされていません。彼らは伝統を見ているだけです。彼らは、光があるのに目

が閉じられた状態の中で生きています。世界で今まで行われた最大の強盗のように、それはイギリスで行われました、それは偽りの光によって行われました。そして、あなたの教会がかつて得た最大の強盗は、彼らが宗派の光を取り、聖書の真の光、キリストを拒否したことでした。

神様、憐れんでください!失われた魂を主よ、救ってください。イエス様、お願いします、もう少し時間を下さい。私達には愛する人たちがいます。もう少しだけ時間を下さい。間もなくその偉大な岩が山から取り除かれます。受け入れてください、主よ、もしあなたを持たない人が一人でも今朝ここにいるなら、彼らは今すぐに来て、優しくあなたが受け入れてくださいますように。

127 頭を垂れている間、手を挙げるなら、「ブラハム兄弟、私を覚えてください」と言ってください。私達には…祭壇や物がいっぱいです。神の祝福がありますように。ただ「私を覚えてください」と言ってください。神の祝福がありますように。神の祝福がありますように。神の祝福がありますように。文字通り何百もの手が!

128 父なる神よ、どこかに小さな影があります。主よ、どうかそれを取り去ってください。彼らはこの部屋の中に座っているのです。しないでください…サタンは彼らの目を盲目にしたかもしれませんが、その時が過ぎました、しかし私はあなたが何日も前に私達にしたように、あなたがウインクするようになることを祈ります。しかし今、あなたは私たち全員を目が見えるように呼び出されました…聖書では彼らは盲目であったと書いています。彼らはそれを知りませんでした。「また、見えるようになるため、目にぬる目薬を買うように勧める。」と言われました。神よ、今朝、その目薬を彼らの目に用いてください、それによって見えるようになるかもしれません。それでも、謙虚な人々の集まりの中で、それは謙虚にさせられるのです、謙虚で無学な人などもいますが、しかしそれは、初めからそうだったのです。主よ、彼らが今それを受け取ることを認めてください。わたしは彼らをあなたの御子イエスの御名によってあなたに渡します。

そしてあなたは言われました「私の言葉を聞く者。」主よ、私の知る限り、彼らはそれを聞いたことがあると確信しています。「わたしを遣わした主を信じなさい」信じるふりをするのではなく、本当に信じ、みことばが言われたそのままを信じるのです。「永遠の命を受け、またさばかれることがなく、死から命に移っているのである。」ヨハネによる福音書5章24節。

主のこの時からずっと彼らがあなたのものとなることを受け入れてください。彼らの心に疑いがあるなら、それを取り去ってください。もし病気の人が私たちの中にいるなら、偉大なる聖霊である、主よ…あることは分かっています。そしてその思考を明らかにしてください、この演壇上に立って。彼らはそれについての全てを知っています。主よ、あなたが彼らを癒されることを祈ります。すべての質問を解決してください。

129 プールは、花婿の名前を取って、イエスキリストの名前に浸水の洗礼をしたことのない人に開放されます。彼らは宗派の教会を手に入れました。「父、子、聖霊」という称号でバプテスマを受けたり、滴礼で洗礼をしたりした者はいません。そしてこの時代の教会に属するこれらの伝統的なものは、反キリストの働きで、獣のイメージなのです。カトリック教会が始まるまで、「父、子、聖霊」というタイトルによって洗礼を受けた者はいませんでした。すべての聖書とすべての歴史においてその後、イエスの御名によって洗礼を受けたと書かれています。

パウロはガラテヤ人への手紙第8章1節で「しかし、たとわわたしたちであろうと、天からの御使であろうと、わたしたちが宣べ伝えた福音に反することをあなたがたに宣べ伝えるなら、その人はのろわるべきである。」と書いています。そして、あなたはヨハネのもとでバプテスマを受けていた人々に、イエスのバプテスマを授けたのと同じ人たちに、使徒19章でイエス・キリストの御名によって再びバプテスマを受けるように命じました。そして、「御使いにさえも他の事を言わせるな」と言われました。

130 終わりの時に使者(メッセンジャー)が来て、人々を初穂に、最初の信仰に戻すのです。主よ、私たちの間の偉大なる使者(メッセンジャー)、偉大なキリスト、聖霊がはっきりさせて下さる、御言葉を聞いて私達にそれを明らかにして下さったことを認めて受け入れてください。彼が彼らを元のペンテコステの信仰に導いてくださいますように。ペテロが言ったように、ペンテコステの日に、「悔い改めなさい。そして、あなたがたひとりびとりが罪のゆるしを得るために、イエス・キリストの名によって、バプテスマを受けなさい。」とそして、それは永遠にその方法だったのです、すべての人にとって、ニカイアのローマ教会が出来るまでそうでした。

神よ、今、憐れんでください。プールは準備ができています。心を開いた人たちのためにです。主イエスよ、入ってください。私達は最後の数時間の時に入っています。主よ、この時間に彼らが来る可能性があるならば、私はそれがあつことを望み、そこに信賴しています。そして、主よ、私達たちが今、目録を取り、神の御言葉を通して語られる神の声を見て、聞いたことがあり、私達は私達たちがどの時代に生きているかそして

我々がだれであるのかを知っています。受け入れてください、父よ。私たちは彼らをあなたの御子の名によってあなたに託します。

さて、頭を垂れた状態で。
そっと、優しく、イエス様が呼ばれる、
あなたを呼ばれている...



www.messagehub.info

伝道者

ウィリアム・マリオン・ブランナム

"...第七の御使いが吹き鳴らそうとしているラッパの音が響くその日には..." 黙示録 10:7